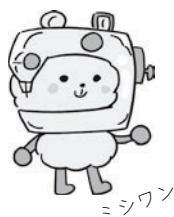


めう まなぶ あそぶ。



パステルミシン



とりあつかいせつめいしょ ほ しょうしょ つき
取扱説明書（保証書付）

ミシンをお使いになる前に

① 動画で流れを確認

やってはいけないこと
リストで故障を防ごう



③ レシピ&ワーク BOOK

ワーク BOOK で、もっと
ミシンのことを学ぼう



② 取扱説明書を確認

保護者の方と
一緒に確認しよう



④ 練習シート

ミシンの動きに慣れよう



⑤ 作品を作る

レシピ&ワーク BOOK を
見て作ってみよう



- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、この製品を安全にご使用ください。
- ご使用前には必ず「安全にご使用いただくために」（3～7 ページ）をお読みいただき内容をご確認ください。
- お読みになった後はいつでも参照できるように、取扱説明書を大切に保管してください。



AXE YAMAZAKI

もくじ

つか まえ よ お使いになる前にお読みください

あんぜん しよう 安全にご使用いただくために	3
かくぶ な はたら 各部の名まえと働き	8
ふぞくひん 付属品	10

ぬ まえ じゅん び 縫う前の準備

いと た ぼう く た 糸立て棒の組み立て	11
はじめてミシンをご使用されるかたへ	12
でんげん い 電源を入れる	13
と だ ボビンの取り出しかた	14
したいと ま 下糸の巻きかた	15
したいと 下糸のセット	22
うわいと 上糸のかけかた	25

ぬ 縫ってみる

ぬ 縫ってみよう	31
トラブルランプ	40
いとちょうし あ 糸調子の合わせかた	44
いと はり ぬの かんけい 糸、針、布の関係	47
かえ ぬ 返し縫い	48
フリーアーム	49
あつ ぬの だん さ ぬ 厚い布や段差を縫う	49
ぬ ほうこう か 縫い方向の変えかた	52
おく なが 送り長さダイヤル	52
スピード ちょうせつ 調節ツマミ	53

縫^ぬってみる

おさ あ 押え上げレバー	53
おさ と と つ 押えの取りはずし・取り付け	54
け いとおさ つか 毛糸押えの使いかた	55
おさ と と つ 押えホルダーの取りはずし・取り付け	56
いと れんしゅう 糸なし練習モード	57
まっすぐガイド	58
アクセサリーボックス	59
はり こうかん 針の交換	64
ただ はり えら 正しい針の選びかた	65

ミシンのお手入^{てい}れ

かまのそうじ	66
あんぜんはり こうかん 安全針ガードの交換	69

そ^た其他

こま 困ったときは	70
しょう 仕様	73
しゅうり ようりょう 修理サービス要領	73
と あ そうだんさき お問い合わせまたはご相談先	74
ほしょうしょ 保証書	終

安全にご使用いただくために

ご使用前に「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

以下の表示を無視してあやまった取り扱いをすることにより起こる内容を、次のように分けています。

以下の内容をよく理解してから本文を読み、記載事項をお守りください。

◆ このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only.

国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はできません。

◆ 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

◆ 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

◆ 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

◆ 縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

◆ 長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。

定期的にミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

◆ 修理するときなどの輸送は梱包状態によっては輸送時にミシン本体が変形または破損する恐れがありますので、ご購入時のミシン箱や緩衝材（発泡スチロール）は保管してください。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。

この取扱説明書で使用している絵文字の意味は次の通りです。

危険性を促す記号



火災の原因になります



感電の原因になります



ケガの原因になります

行為を「禁止」する記号



禁止



分解禁止

行為を「指示」する記号



必ずすること



電源プラグを抜く



警告



か さい かん でん げん いん
火災、感電の原因となります。

エーシー
AC アダプターをコンセントにしっかりさし込んでください。

エーシー
AC アダプターを持って抜きさししてください。

ミシンを使用しないときやミシンから離れたとき、使用中
断するときはコンセントから AC アダプターを抜いてくだ
さい。



ちっ そく けつ げん いん
窒息やうっ血の原因となります。

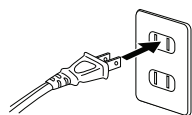
エーシー
AC アダプターのコードを体に巻きつけないでください。

ふくろ こうぼうざい
袋などの梱包材をかぶらせないでください。

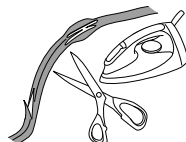
とく こ さま ふくろ こうぼうざい ふ ぞくひん
特にお子様は袋などの梱包材やミシンの付属品、ミシ
ンから外した部品は絶対に口に入れないでください。



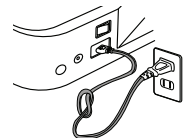
か さい かん でん げん いん
火災、感電の原因となります。



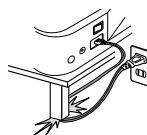
いっばん か ていようでんげん エーシー ポルト でんげん
一般家庭用電源 AC100V の電源
い がい ぜったい し ょう
以外では絶対に使用しないでください。
エーシー ポルト ヘルツ
(AC100V 50/60Hz)



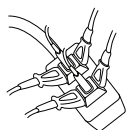
きず と せん だ
傷つけたり、溶けて線がむき出し
になったコードを使わないでください。



コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじ
れ、加工はしないでください。



コードに机や椅子の脚など重いもの
の を載せないでください。

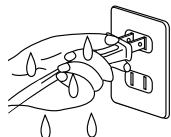


えんちよう ぶん き し ょう
延長コードや分岐コンセントを使用した
タコ足配線はしないでください。

警告



火災、感電の原因となります。



ぬれた手で AC アダプターを抜き
さししないでください。



説明書で指定された以外の分解
や改造はしないでください。

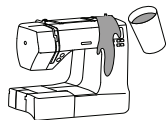
火の気のあるもののそばやスプレー製品などを
ご使用の部屋では、使用しないでください。
(火の消えていないタバコ、ロウソクなど)

AC アダプターのコードはミシン本体やフットコント
ローラーに巻きつけないでください。

保管時の結露について寒い場所から、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝に暖房を入れたばかりの部屋で
は、本体の表面や内部に結露が発生することがあります。結露がなくなるまで、AC アダプターをコンセントに接続し
ないでください。



火災、感電の原因となります。
販売店、サービスセンターにご連絡ください。



ミシンの中に水や異物が入ったときは、
AC アダプターをコンセントから抜いて
ください。



落としたり正常に作動しないときは
AC アダプターをコンセントから抜
いてください。



発煙や異臭、異音などの異常が発生
したら AC アダプターをコンセントから
抜いてください。



注意



て ゆび はさ はり さ
手や指が挟まる、針が刺さるなどのケガやミシンの故障に
おそ
なる恐れがあります。

ふ あんてい ばしょ お
ミシンを不安定な場所に置かないでください。

いた あ そう さ
すべり板を開けたままミシンを操作しないでください。

どう さ ちゅう ぐるま はり てん て ふ
動作中にはずみ車・針・天びんに手を触れ
ないでください。

こ さま し ょう こ さま ちか し ょう
お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するとき
とく あんぜん ちゅう い こ さま め はな
特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。

よう じ て とど ばしょ ほ かん
幼児の手が届かない場所に保管してください。

そう さ ちゅう め はな
ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。

こう かん はり ほう ち
交換した針は放置しないでください。

あんぜん はり あ ほう せい そう さ
安全針ガードを開けたまま、縫製などの操作を
おこな
行わないでください。



はり あな はい お はり と こ し ょう お そ
針穴に入らず、折れた針が飛び、ケガやミシンの故障になる恐れがあります。

ほう せい ちゅう い と が ら め の む り ひ ば
縫製中や糸絡みのとき、布を無理に引っ張ったり、
お
押ししたりしないでください。

ほんたい ない ぶ い ぶ つ い
ミシン本体の内部に異物を入れたり、ドライバー
などをさし込まないでください。

ま はり つか
曲がった針は使わないでください。



さ ぎ ょ う と ちゅう きゅう う ご お そ
作業途中にミシンが急に動き、ケガのする恐れがあります。

はり お さ こう かん でん げん
針・押え・アタッチメントを交換するときは、電源
ぬ
プラグをコンセントから抜いてください。

ま はり つか
曲がった針は使わないでください。



ぶ ひん へん し ょ く へん け い き ず こ し ょう お そ
部品の変色や変形、傷などでミシンの故障になる恐れがあります。

や が い ち ょ く し や に つ こ う ば し ょ こう お ん た し つ かん き ょ う
屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環 境
さむ ば し ょ し ょ う さ
寒い場所での使用は避けてください。

ま が はり つか お さ はり いた
曲がった針を使うと、押えや針板、ボビンケースに
き ず い と ち ょ う し あ
傷がついて糸調子が合わなくなります。

ちゅうい
注意



ミシンを^{すべ}滑り落として、^おケガやミシンの^{こしょう}故障になる^{おそ}恐れがあります。

ミシン本体^{ほんたい}を持ち運び^もするときは、^{はこ}急激な^{きゅうげき}、または^{ふようい}不用意な動作^{どうさ}をしないでください。



ミシンに^{ふたん}負担^{こしょう}がかかり故障^{おそ}の恐れ、またはミシンが^{たお}倒れてケガをする^{おそ}恐れがあります。

ミシンの^{うえ}上に^{もの}物を載^のせない、またはミシンの^{うえ}上に^の乗らないでください。



針^{はり}やモーターなどに^{かど}過度^{ふたん}の負担^{こしょう}がかかり、故障^{おそ}の恐れや針が^{はり}折^おれてケガをする^{おそ}恐れがあります。

木^き、プラスチック^{きんぞく}、金属^{いた}などの板^ぬ、濡^{ぬのあら}れた布^{ぬの}、粗^{ぎよもう}い布^{ぐるま}（漁網^てなど）、はずみ車^{まわ}を手^{はり}で回^さしても針^{ぬのあつす}が刺^ささりにくい布^ぬ、厚^{あつ}過ぎる布^ぬはこのミシンで縫^ぬえません。

かく ぶ な はたら 各部の名まえと働き

● ミシン本体〈正面〉

おく なが 送り長さダイヤル

ぬの おく なが ちょうせつ
布を送る長さを調節します。

いと あんない 糸案内

いと ただ ほうこう
糸を正しい方向へ
あんない
案内します。

いと 糸かけランプ

あんぜんはり ひら
安全針ガードを開いて
いるとき、上糸が天びん
うわいと てん
にかけられない位置に
あるとランプが点滅し
ます。

いと き ば 糸切り刃

ぬ お いと
縫い終わりの糸を
き
切ります。

てもと 手元ランプ / トラブル ランプ

さぎょう て
作業スペースを照らすだけで
なく、間違った使いかたをする
とランプが点滅します。

てん 天びん

ひつよう いと ひ だ
必要な糸を引き出して
ぬ め つく
縫い目を作ります。

あんぜんはり 安全針ガード

ゆびさき はり さ ぼうし
指先などに針が刺さることを防止します。
ひら はり うご
開いていると針は動きません。

いと き 糸切りガイド

いと ま つ あと
ボビンに糸を巻き付けた後、
した とお いと き
ガイドの下に通すと糸が切れます。

いと た ぼう 糸立て棒

いと こてい いと
糸こまを固定し、糸がスムーズ
ひ だ
に引き出せるようにします。

したいと ま じく 下糸巻き軸

したいと ま つ
下糸をボビンに巻き付けます。

したいと ま 下糸巻きストッパー

ボビンに巻く下糸の
ま す ぼうし
巻き過ぎを防止します。

てまわ 手回しハンドル

まわ はり てん
回すと、針・天びん・かま・
おく ぼう うご
送り歯などが動きます。

てまわ かい
*手回しハンドルを1回
てん
転させるごとに、「カリカ
り」という音が鳴る仕組
みになっています。

*ラプリーパステルのみ

し お知らせランプ

いと れんしゅう
糸なし練習モードの
ときや、あんぜんはり
ガードを開いているとき、
またトラブルが発生
したときに光ります。

かえ ぬ 返し縫いレバー

お さ あいだ ぎやく む ぬ
押し下げている間、逆 向きに縫
います。ほつれ止めに使用します。

ちょうせつ スピード調節ツマミ

ぬ はや ちょうせつ
縫う速さを調節します。

スタートストップボタン

お うご だ
押すと動き出して、
さいど お と
再度押すと止まります。

*フットコントローラーを接続して
しやう
いると使用できません。

● ミシン本体〈背面〉

はずみ車

まわ はり てん じょうげ
回すと針・天びんが上下します。
ぎやくてん か のう
逆転も可能です。

糸かけ

ま したいと きんいつ ま ほじょ
ポビンに巻く下糸を均一に巻くように補助します。

おさ 押え上げレバー

ぬの おさ ぶひん じょうげ
布を押える部品を上下に
うご
動かすレバーです。

いと れんしゅう 糸なし練習モード き 切り換えスイッチ

いと れんしゅう ぎ
糸なし練習モードに切り
か
換えるスイッチです。

でんげん 電源コードジャック

エーシー
ACアダプターをつなぎます。

でんげん 電源スイッチ

でんげん い き
電源を入れたり、切ったり
します。

フットコントローラージャック

フットコントローラーをつなぎます。

きゅうばん あし 吸盤ゴム足

こてい でんとう ぼうし
ミシンを固定して転倒を防止します。

● ミシン本体〈針周辺〉

おさ 押えホルダーレバー

おさ
押えをはずすためのレバーです。

おさ 押えホルダー

おさ と つ ぶひん
押えを取り付けるための部品です。

おえ 押えホルダー止めねじ

おさ こてい
押えホルダーを固定するねじです。

おさ 押え

ぬの おさ うご
布を押さえて動かない
ようにします。

はりいた 針板

ぬの ささ はり ただ ぬの
布を支え、針が正しく布に
さ ぶひん
刺さるようにする部品です。

したいと き ば 下糸切り刃

したいと さいご
下糸をかけた最後に
いと き
糸を切ります。

おく ば 送り歯

じょうげぜんご うご ぬの
上下前後に動いて布
おく だ
を送り出します。

おさ ほう 押え棒

おさ ほう
押えホルダーを取り付け、
じょうげ うご
上下に動かします。

はり ど 針止めねじ

はり こてい
針を固定するねじです。

はりほういと 針棒糸かけ

いと なが あんてい
糸の流れを安定させます。

はり 針

ぬの いと とお ぬ め
布に糸を通して縫い目を
つく
作ります。

まっすぐガイド取り付け軸

まっすぐガイドをとり
つけ
付ける軸です。

はりいた と 針板止めねじ

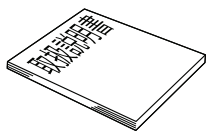
はりいた こてい
針板を固定するねじです。

すべり板

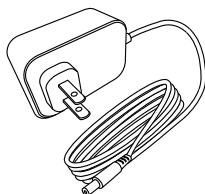
いと なが
糸がスムーズに流れるように
ポビンにカバーをします。

ふぞくひん 付属品

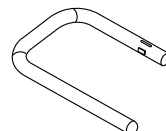
- 必ず専用の付属品をご使用ください。
- ボビンをご購入の際は、家庭用プラスチックボビン（高さ 11.5mm × 直径 20.5mm）とご指定ください。
- 針をご購入の際は、市販の家庭用ミシン針（HA × 1）とご指定ください。



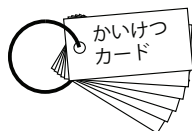
とりあつかいせつめいしょ ほんしょ
取扱説明書（本書）



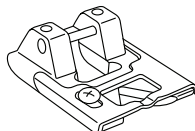
エーシー
AC アダプター
しゅつりょく ボルト アンペア
（出力：12V 2.0A）



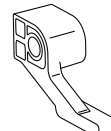
いと た ぼう
糸立て棒



かいけつ
解決カード



けいとおさ
毛糸押え



まっすぐガイド



レシピ & ワーク BOOK



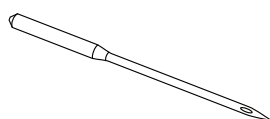
れんしゅう
練習シート



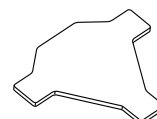
できたシール
キューアール
（QR コード付き）



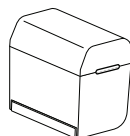
はやみひょう
早見表



はり ほん
針 1 本
エイチエー エスビー ばん
（HA × 1SP 14 番）
* ニット用の針

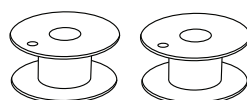


はりいた
針板ドライバー
はり と はりいた と よう
（針止めねじ・針板止めねじ用）



アクセサリーボックス

- * タブレットスタンド兼用
- * AC アダプターはアクセサリーボックスの中にあります。

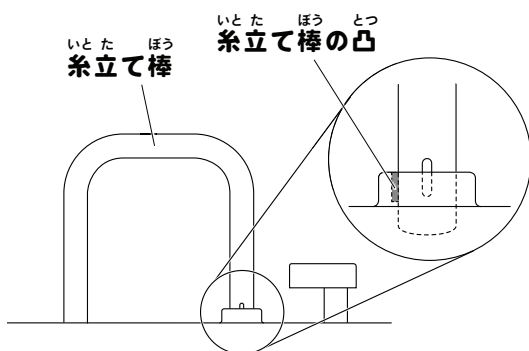
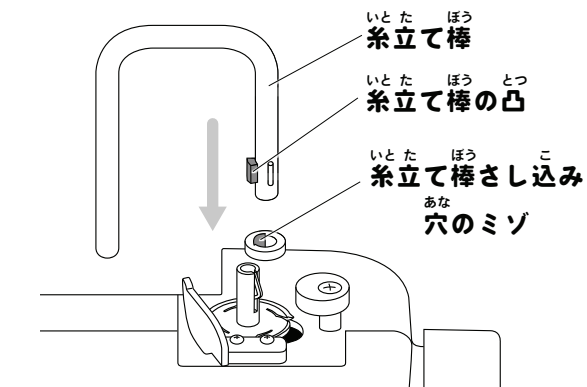


かていよう
家庭用プラスチックボビン 2 個
たか ちよっけい
（高さ 11.5mm × 直径 20.5mm）

- * 家庭用プラスチックボビンはミシン本体にも 1 個セットされています。

いと た ぼう く た 糸立て棒の組み立て

く た ● 組み立てかた

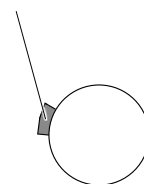


- 【1】『いと た ぼう とつ 糸立て棒の凸』と『いと た ぼう こ 糸立て棒さし込み 穴のミゾ』の向きを合わせて、さし込みます。

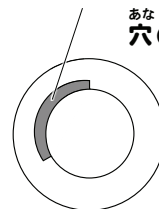
ポイント！

- 『いと た ぼう 糸立て棒』の向きを間違えると奥までは入りません。『いと た ぼう とつ 糸立て棒の凸』と『いと た ぼう こ 糸立て棒さし込み 穴のミゾ』の向きを確認してください。

いと た ぼう とつ
糸立て棒の凸



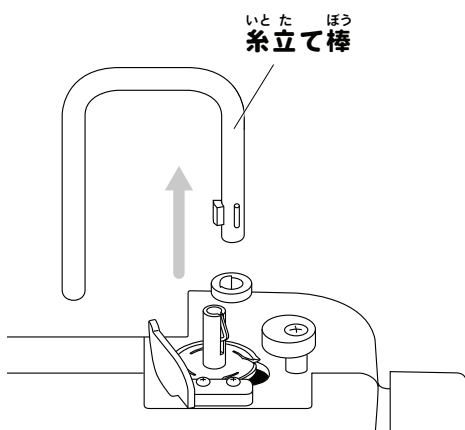
いと た ぼう こ
糸立て棒さし込み
穴のミゾ



- 『いと た ぼう 糸立て棒』のさし込む向きは凸と穴の形に合わせてください。

- 【2】『いと た ぼう とつ 糸立て棒の凸』が見えなくなるまでさし込みます。

● はずしかた



- 【1】いと た ぼう も まうえ ひ ぬ 糸立て棒を持ち、真上に引き抜きます。



ちゅう い
注意

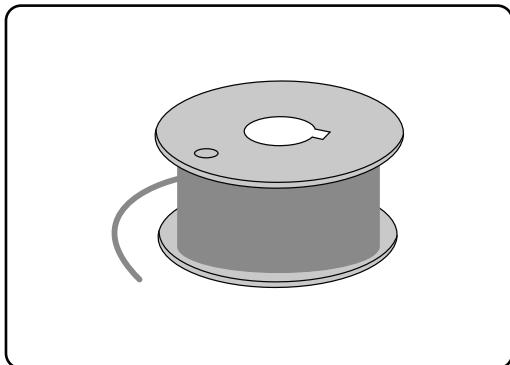
- 『いと た ぼう 糸立て棒』をさしたままでは保管や梱包する際、『いと た ぼう 糸立て棒』が変形する恐れがあります。

はじめてミシンを^{しよう}ご使用されるかたへ

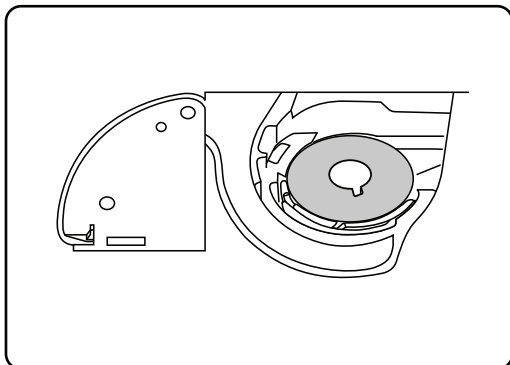
ミシンを^{つか}使うための^{てじゅん}手順

ミシンは「^{うわいと}上糸」と「^{したいと}下糸」をセットして使います。

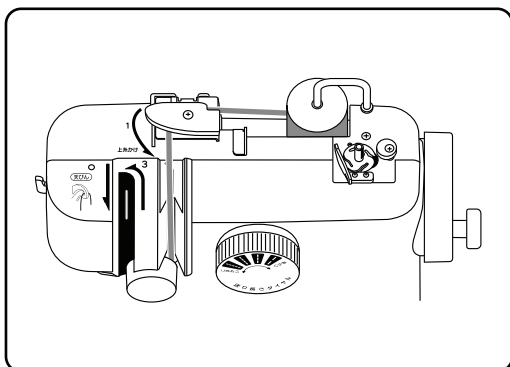
^{かき}下記の^{てじゅん}手順で^{かくにん}確認しながら、^ぬ縫うための^{じゅんび}準備をしましょう。



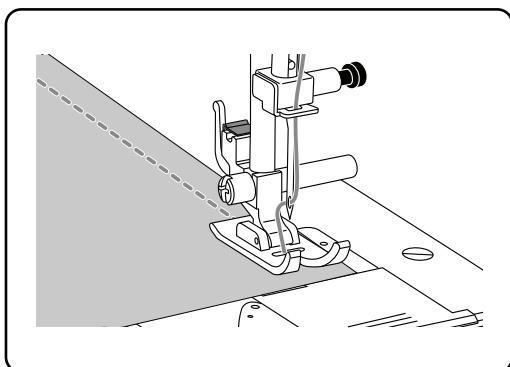
- 【1】 ボビンに^{したいと}下糸を^ま巻きます。
(P15)



- 【2】 ^{したいと}下糸を巻いたボビンをミシンに
セットします。
(P22)



- 【3】 ミシンに^{うわいと}上糸をかけます。
(P25)



- 【4】 ^ぬ縫ってみましょう (^{ため} ^ぬ 試し縫い)
(P31)

* ^{ため} ^ぬ 試し縫いとは、^{ほんばん} 本番の布を縫う前に、^ぬ 別の布で
ミシンの^{ちょうし} 調子を確認することです。

* ^{おく} ^{なが} 送り長さ (^ぬ ^め ^{なが} 縫い目の長さ) や糸 ^{いと} ^{ちょうし} 調子も^{かくにん} 確認
しましょう。(P52、P44)

でんげん い 電源を入れる



けい こく
警告



- エーシー
■ AC アダプターを持って抜く。

コードのみを引っ張ると、AC アダプターのコード接続部分が破損し、火災や感電、機器故障の原因となります。



ちゅう い
注意



- でんげん
■ 電源スイッチを『○』にして切る。
とつぜんうご 突然動くとかげをする恐れがあります。



- エーシー
■ AC アダプターは必ず純正品を使用する。

- ・ はずみ車や針 周辺に手や物を置かない。
- ・ ミシン周辺に物を置かない。
- ・ 水平な所にミシンを設置する。
- ・ 作業スペースを確保する。

＜ミシン背面＞

でんげん
電源コードジャック



フットコントローラージャック



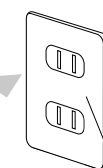
でんげん
電源スイッチ



入
切

でんげん
電源コードジャック

でんげん
電源コードプラグ



コンセント
(家庭用電源 / 100V)

エーシー
AC アダプター

- 【1】『電源スイッチ』を「切る側」に押し、電源を切ります。
- 【2】『電源コードプラグ』をミシン本体の『電源コードジャック』にさし込みます。
- 【3】『AC アダプター』を『コンセント (家庭用電源 / 100V)』にさし込みます。
- 【4】『電源スイッチ』を「入れる側」に押し、電源を入れます。

* 電源を入れると『手元ランプ』が光ります。

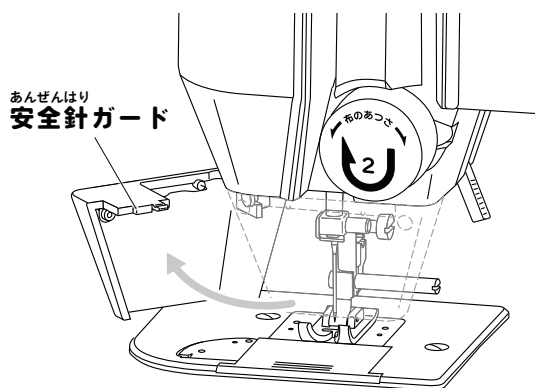
とだ ボビンの取り出しかた



ちゅうい
注意

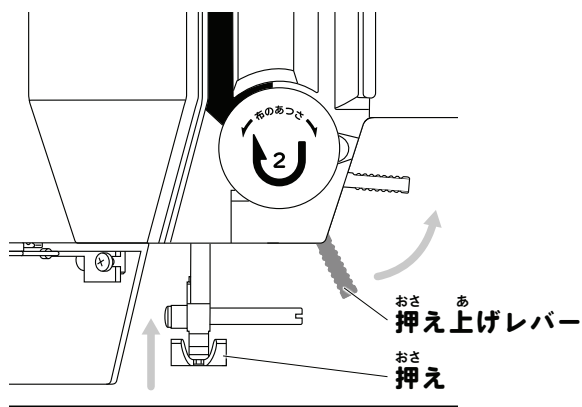


はりさき ちゅうい
■ 針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。



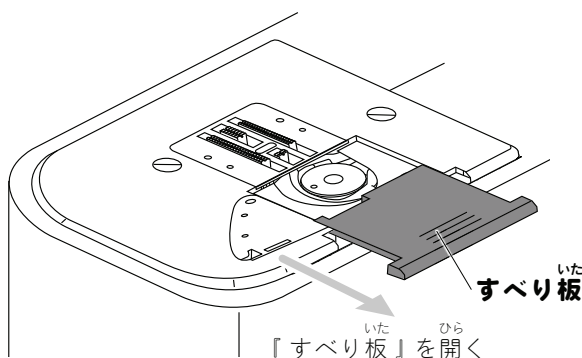
【1】『あんぜんはり 安全針ガード』を開きます。

- * とうめいパステルは
『あんぜんはり 安全針ガード』を開いていると、
ミシン全体の白色のランプが光ります。
- * ラブリーパステルは
『お知らせランプ』が光ります。

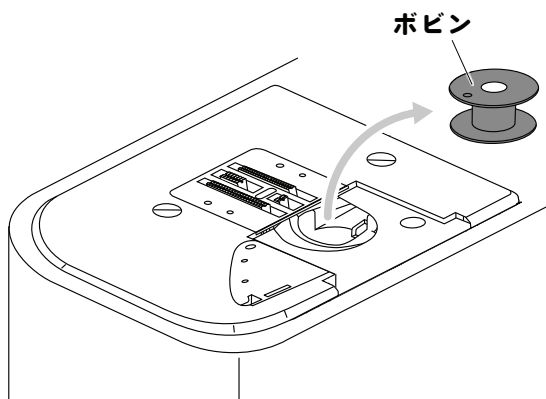


【2】『おさ あ 押え上げレバー（白・プラスチック）』
で『おさ 押え』を上げます。

- * 『あんぜんはり 安全針ガード』を開いている状態で、
『おさ あ 押え上げレバー』を上げると、
『おさ あ 押え上げレバー』のランプが消えます。



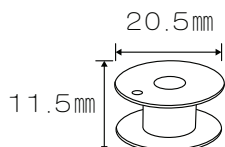
【3】『すべり板』を手前に引いてはずします。



【4】『ボビン』を取り出します。

- * 右側から指を入れ、『ボビン』をおこしつまんで取り出します。
- * 巻き終えたボビンをセットするので『安全針ガード』や『すべり板』は開いたままにしてください。

したいと
下糸の巻きかた
ま



* プラスチックボビンの
サイズ

- * ボビンは家庭用プラスチックボビン（高さ 11.5mm × 直径 20.5mm）をご使用ください。
（異なるボビンを使用するとミシンの故障の原因になります）



ちゅうい
注意



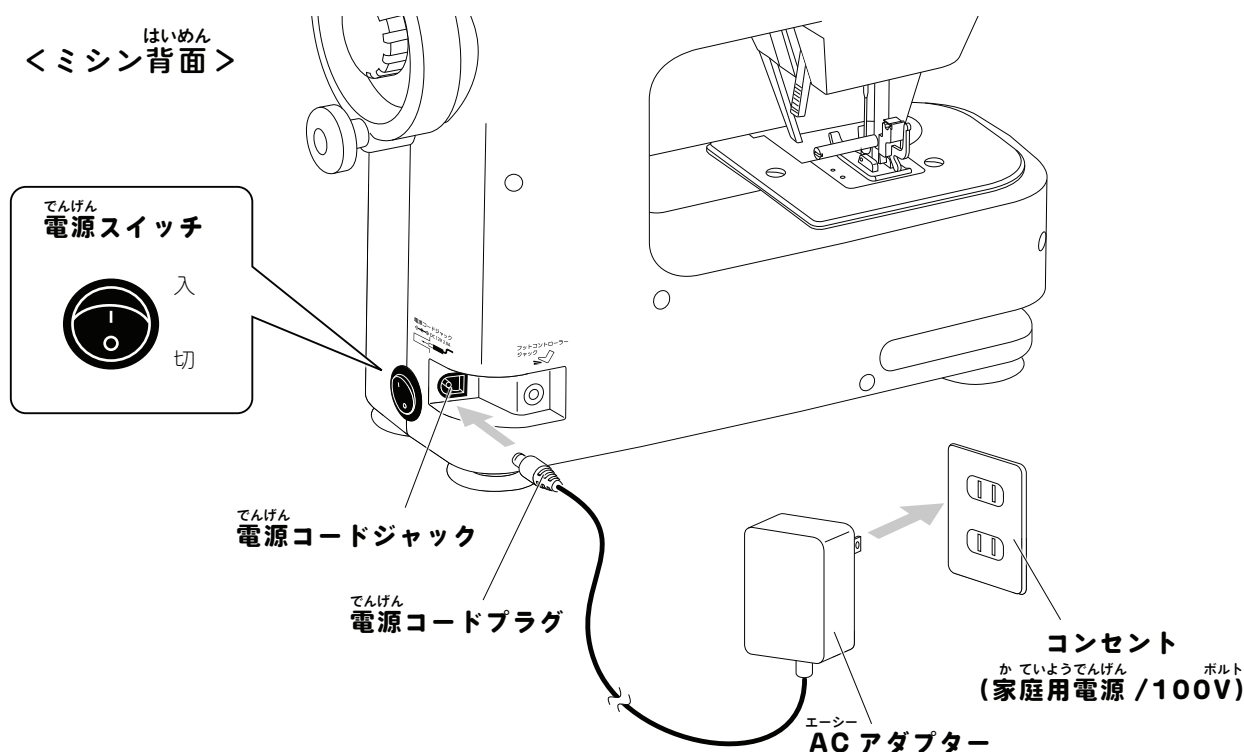
- 下糸巻きの作業中は下糸巻き軸やボビンに触れない。
ケガをする恐れがあります。

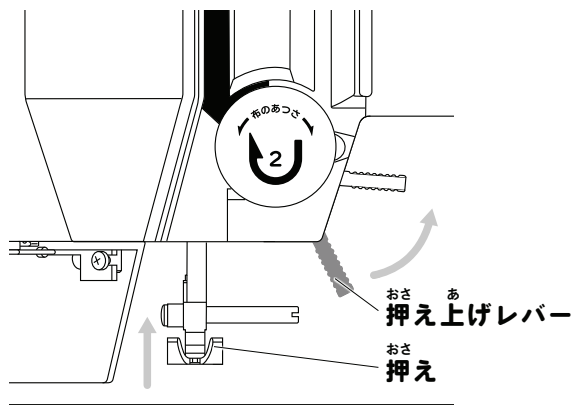
- ACアダプターは必ず純正品を使用する。

- 【1】『電源スイッチ』を「切る側」に押し、電源を切ります。
- 【2】『電源コードプラグ』をミシン本体の『電源コードジャック』にさし込みます。
- 【3】『ACアダプター』を『コンセント（家庭用電源 / 100V）』にさし込みます。
- 【4】『電源スイッチ』を「入れる側」に押し、電源を入れます。

- * 電源を入れると『手元ランプ』が光ります。

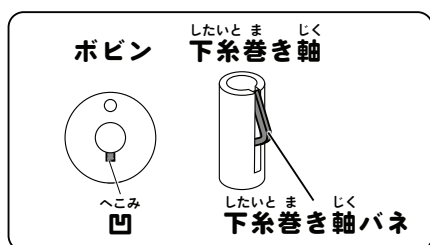
はいめん
＜ミシン背面＞



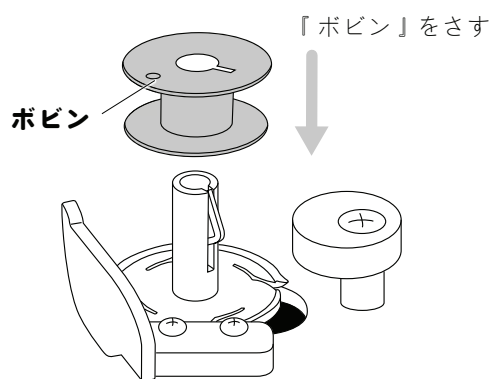


【5】『おさえ上げレバー（白・プラスチック）』で『おさえ』を上げます。

*『おさえ上げレバー』を上げると、『おさえ上げレバー』のランプが消えます。



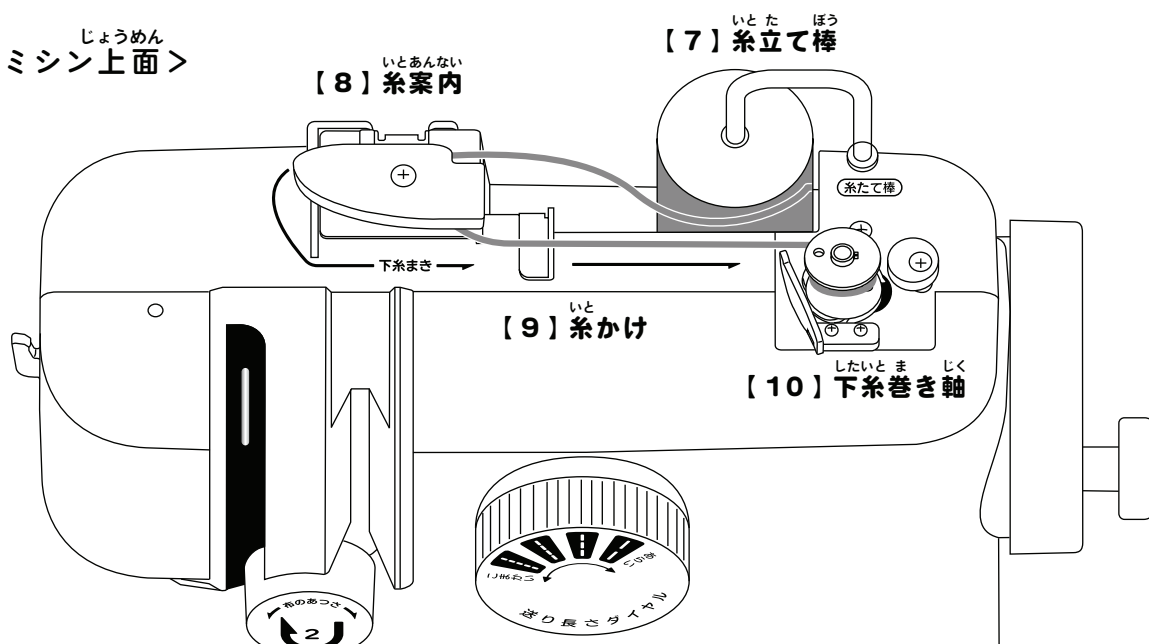
【6】『ボビンのへこみ』部分を『下糸巻き軸バネ』の位置に合わせてさします。



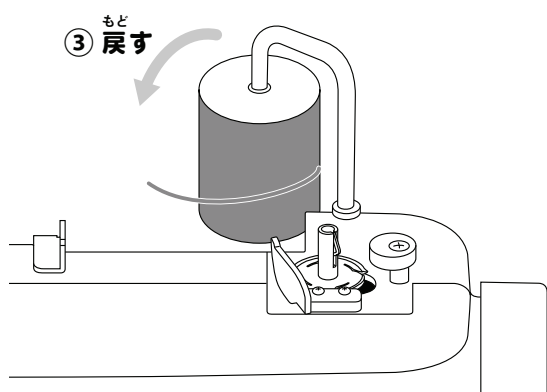
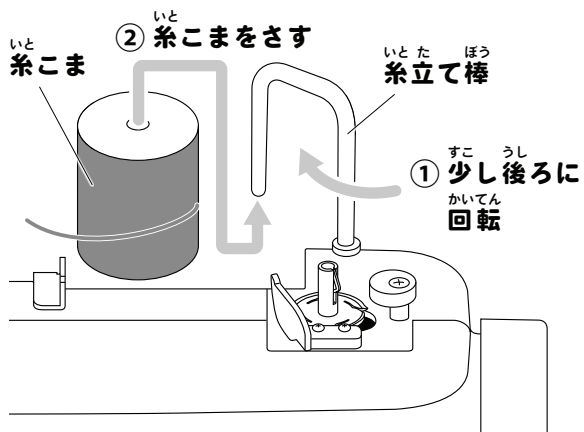
注意

■『ボビンのへこみ』部分と、『下糸巻き軸バネ』の位置を合わせないと糸を巻くとき、『ボビン』が空回りして糸が巻けません。

＜ミシン上面＞



下糸の準備

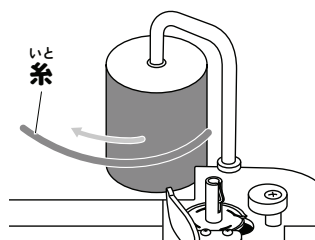


【7】『糸立て棒』を少し後ろに回転させて、糸が手前から繰り出されるように『糸こま』の向きを確認しながら、下からさし込みます。

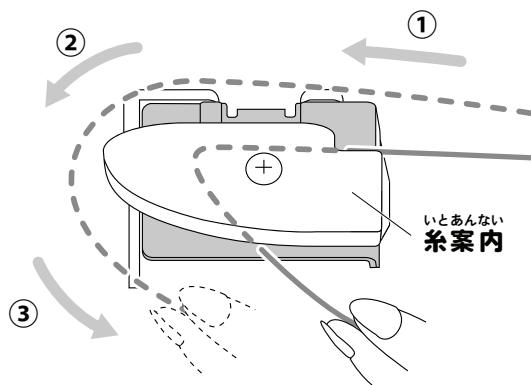


注意

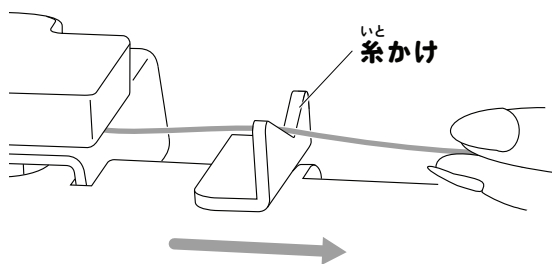
- 糸が手前から繰り出されるように『糸こま』の向きに注意してください。



【8】『糸こま』を持ったまま、『糸立て棒』を前に戻します。

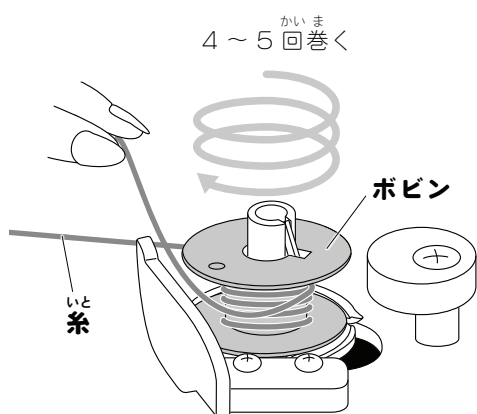
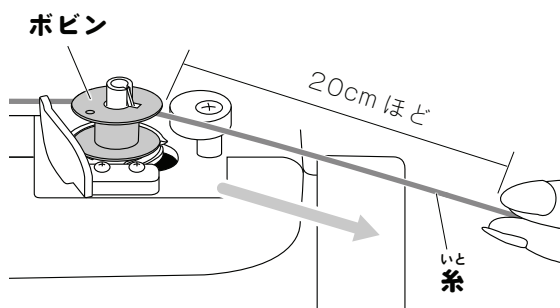


【9】糸を『糸案内』の下に通します。



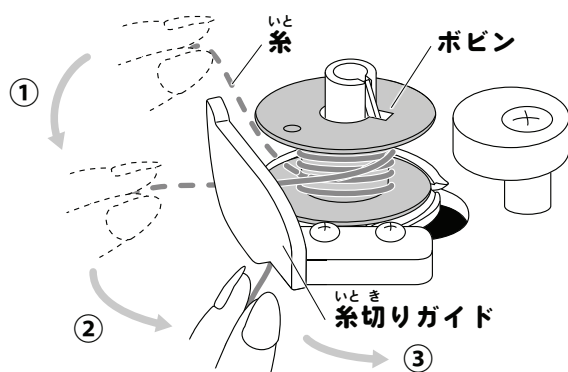
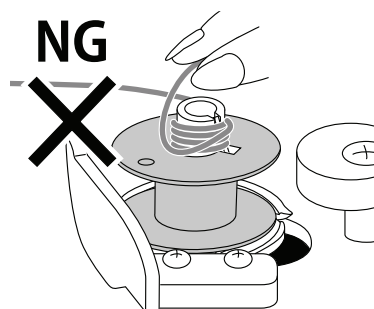
【10】糸を『糸かけ』の上を通るように乗せます。

【11】『ボビン』から 20cm ほどの糸を引き出し、『ボビン』に時計回りに 4～5 回巻きつけます。



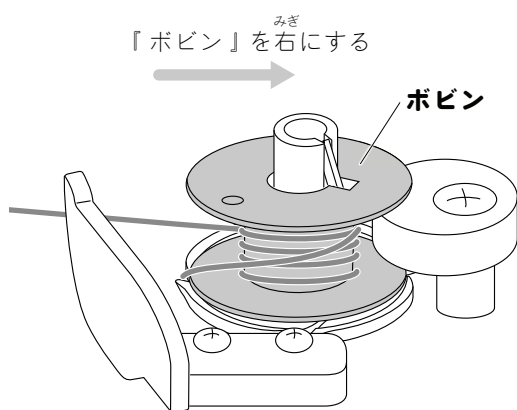
注意

- 長さが 20cm 以下の場合は、正常に糸を巻くことができません。
- 巻きつける回数が少ないと正常に糸を巻くことができません。
- 糸は必ず『ボビン』に巻きつけてください。他の部分には巻きつけないでください。

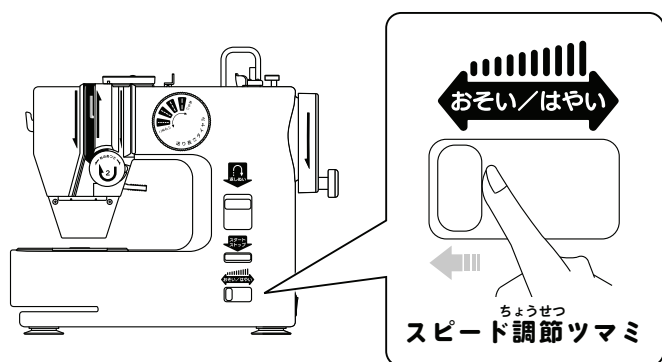


【12】『糸切りガイド』にそって糸をかけ、右に引っ張って切ります。

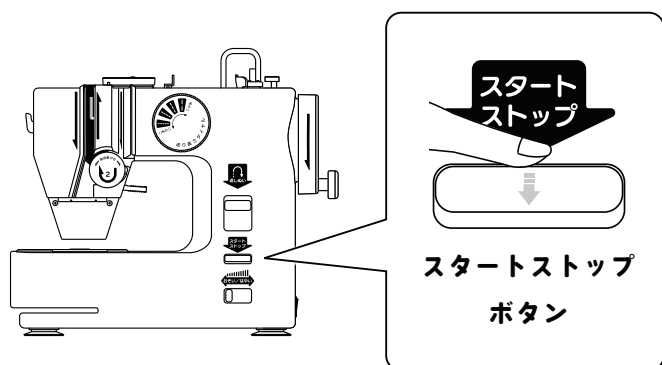
「ボビン」を右にする



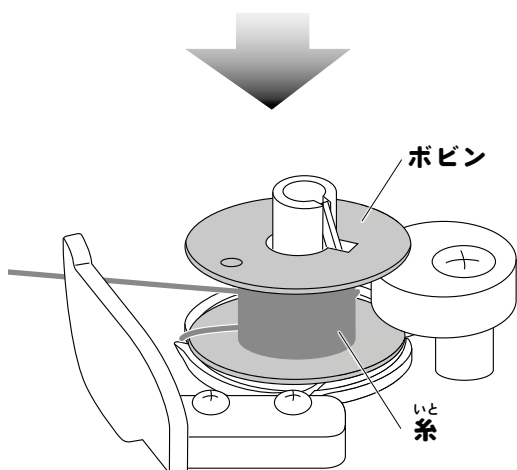
【13】「ボビン」を右によせます。



【14】「スピード調節ツマミ」を「おそい」に合わせます。

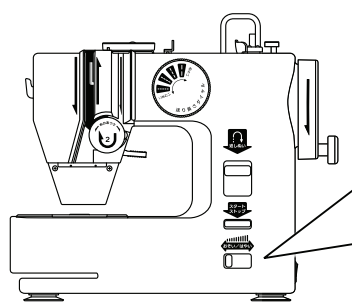


【15】「スタートストップボタン」を上から押して「ボビン」に糸を数回巻きつけた後、再度「スタートストップボタン」を上から押して止めます。



注意

- 「下糸巻き軸」が回転している最中、「ボビン」に触れないでください。



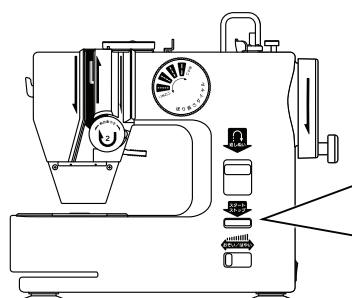
【16】糸が正常に『ボビン』に巻きついて
いることを確認したら、『スピード調節
つまみ』を「はやい」に合わせます。

その後、『スタートストップボタン』を
上から押してください。

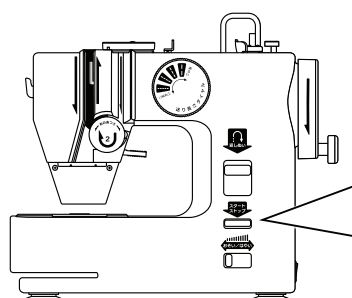
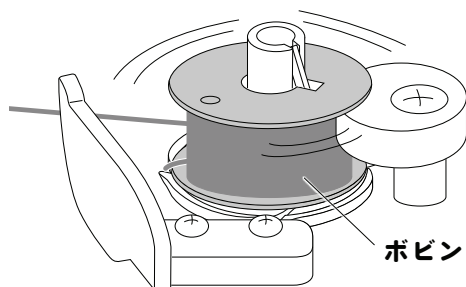


注意

- 糸が『ボビン』に巻きついて
いることを確認します。

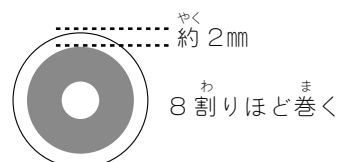


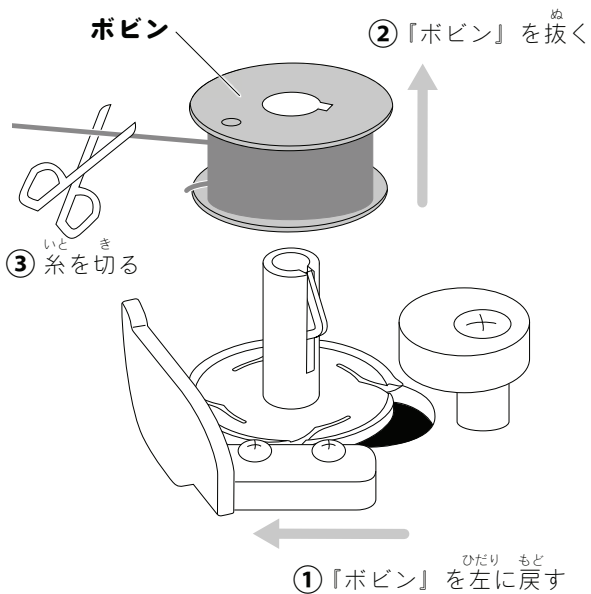
【17】『ボビン』の回転がゆっくりになり、
8割りほど巻き終わったら、『スタート
ストップボタン』を上から押して
とめます。



注意

- 『下糸巻き軸』が回転している最中、
『ボビン』に触れないでください。
- 『ボビン』に糸を8割り以上巻いて
しまうと、縫っている途中で糸が絡ん
だり切れたりすることがあります。



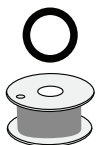


【18】『ボビン』を左に戻して、『ボビン』を抜きます。
その後、糸を切ります。



注意

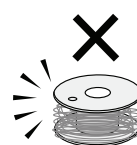
- 糸の端が残っていると、糸が『かま』の内部に引っかかり、糸が絡む原因になります。



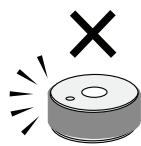
糸が残っている



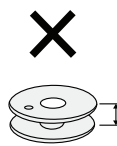
糸の輪がある



糸がゆるい



糸の巻き過ぎ

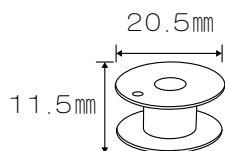


ボビンのサイズが異なる



金属製のボビン

したいと 下糸のセット



* プラスチックボビンの
サイズ

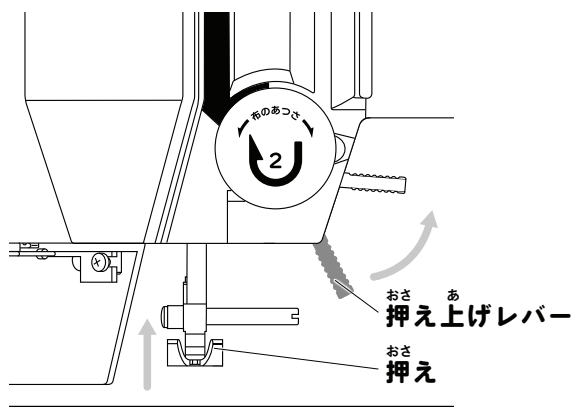
* ボビンは家庭用プラスチックボビン（高さ11.5mm×直径20.5mm）をご使用ください。
（異なるボビンを使用するとミシンの故障の原因になる恐れがあります）



ちゅう い
注意

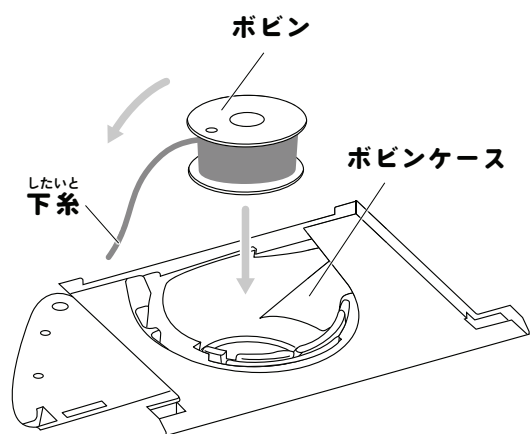


はりさきちゅう い
針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。



【1】『おさ あ 押え上げレバー（白・プラスチック）』
で『おさ あ 押え』を上げます。

* 『おさ あ 押え上げレバー』を上げると、
『おさ あ 押え上げレバー』のランプが消えます。

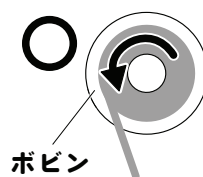


【2】したいと 下糸は『ボビン』の左側から糸が出る
ように『ボビンケース』に入れます。

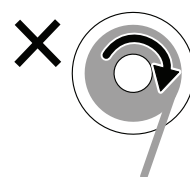


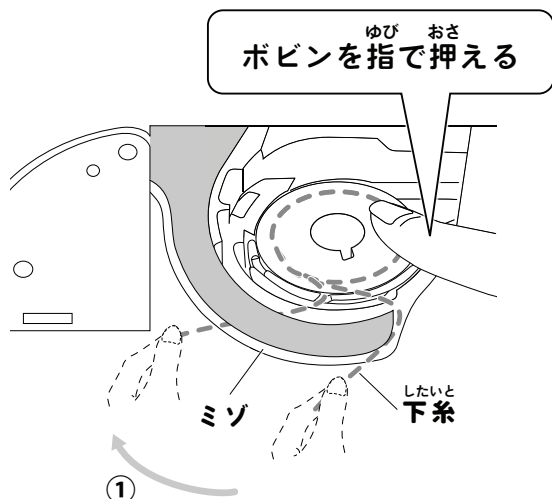
ちゅう い
注意

・『ボビン』を時計回りの向きでセットすると、縫っている際に糸が『ボビンケース』からはずれ、下糸の糸調子が効かなくなり、正しい縫い目ができなくなったり、糸が絡んでしまうことがあります。

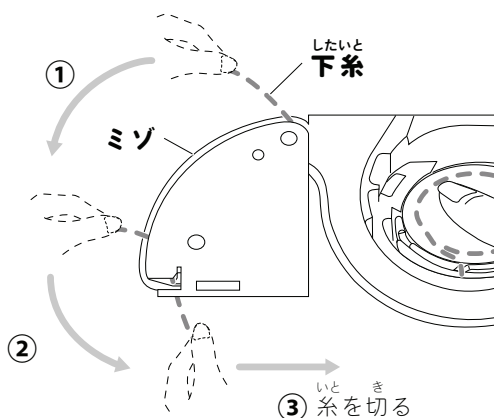


ボビン





【3】「ボビン」を指で軽く押えながら、引き出した下糸を『ミゾ』に通します。

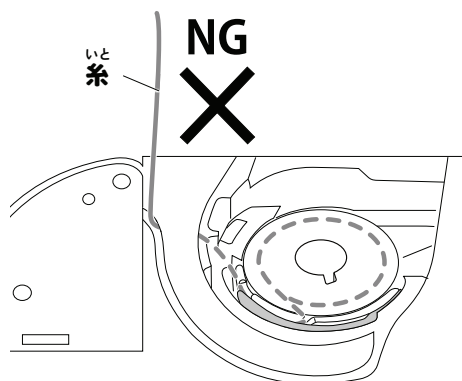


【4】『ミゾ』にそって下糸を通し、右手前に糸を引っ張って切ります。



注意

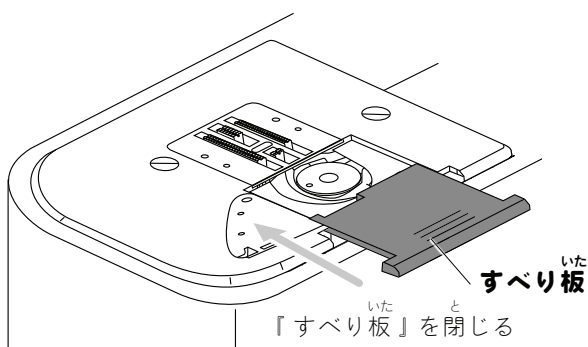
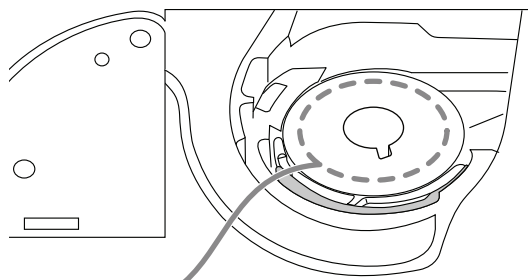
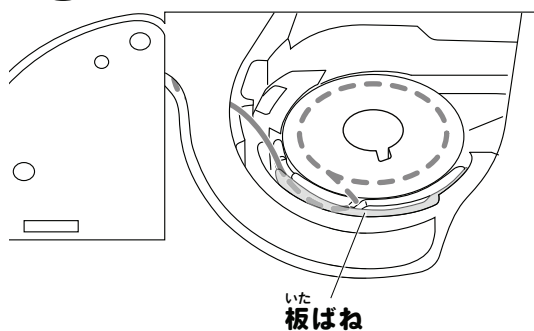
- 下のイラストのように、ミゾの途中で糸かけを終えると、縫い始めの糸が絡むことがあります。
必ず、ミゾの最後まで糸をかけてから糸を切ってください。



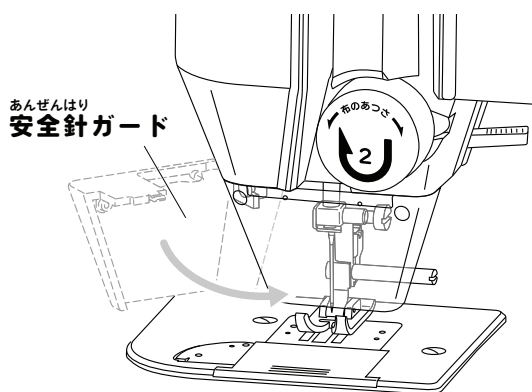


注意

- 『ボビンケースの板ばね』の間に、糸が確実に入っていることを確認してください。入っていない場合は、もう一度正しく糸をかけ直してください。



【5】『すべり板』を閉じます。



【6】『安全針ガード』を閉めます。

- * とうめいパステルは『安全針ガード』を閉めると、ミシン全体の白色のランプが消えます。（『手元ランプ』は消えません）
- * ラブリーパステルは『お知らせランプ』が消えます。



ちゅう い
注意



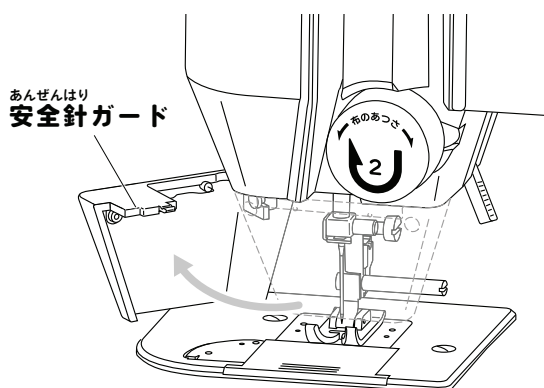
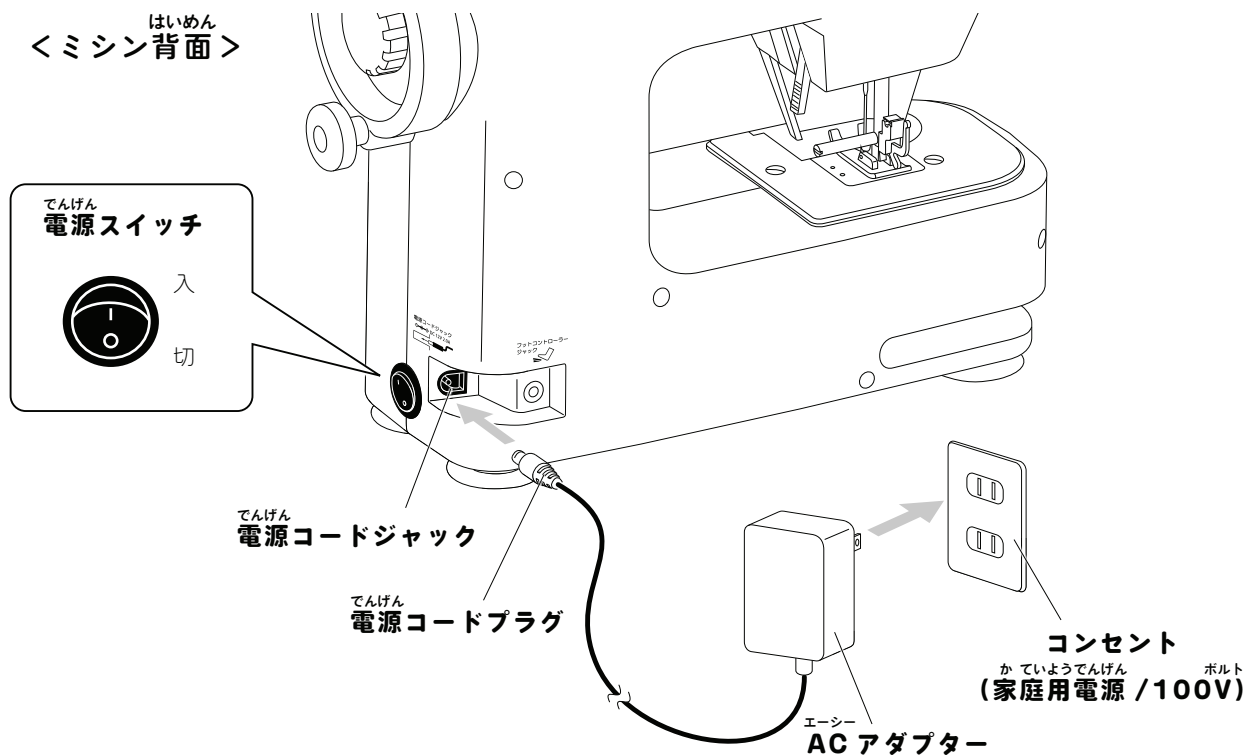
はりさき ちゅう い
■ 針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。

エーシー かなら
■ AC アダプターは必ず
じゅんせいひん しよう
純正品を使用する。

- 【1】『電源スイッチ』を「切る側」に押し、電源を切ります。
- 【2】『電源コードプラグ』をミシン本体の『電源コードジャック』にさし込みます。
- 【3】『ACアダプター』を『コンセント（家庭用電源 / 100V）』にさし込みます。
- 【4】『電源スイッチ』を「入れる側」に押し、電源を入れます。

* 電源を入れると『手元ランプ』が光ります。

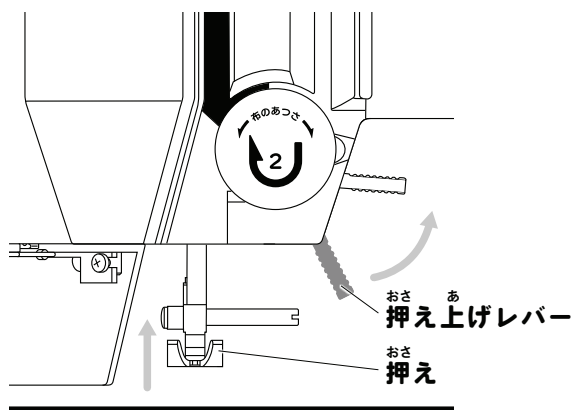
＜ミシン背面＞



- 【5】『安全針ガード』を開きます。

* とうめいパステルは
あんぜんはり ひら
『安全針ガード』を開いていると、
ミシン全体の白色のランプが光ります。

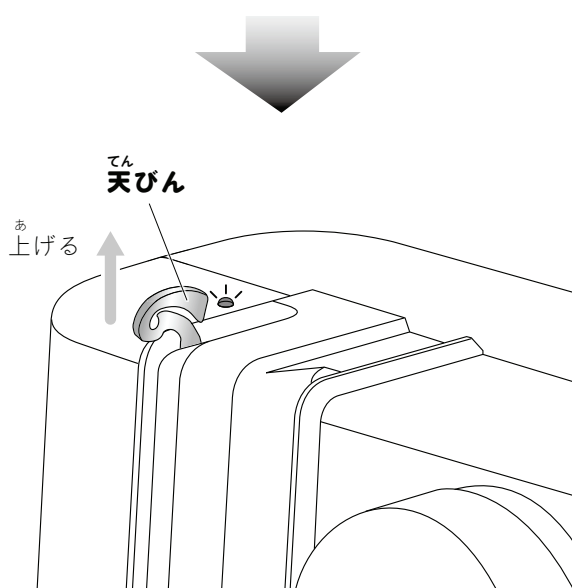
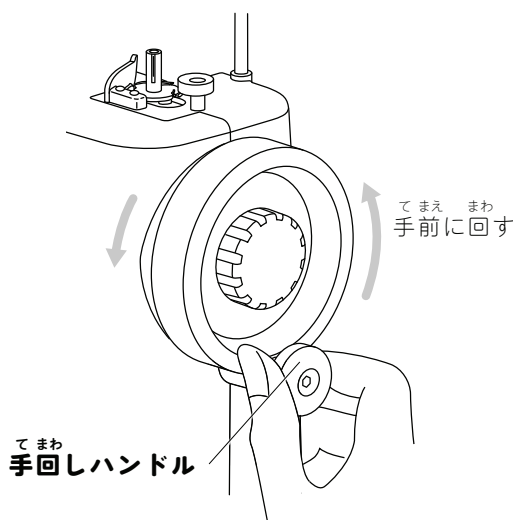
* ラブリーパステルは
し ひか
『お知らせランプ』が光ります。



【6】『おさえ上げレバー（白・プラスチック）』で『おさえ』を上げます。

- *『おさえ上げレバー』を上げると、『おさえ上げレバー』のランプが消えます。
- *『おさえ』が下がっていると、正しく糸かけができません。

＜ミシン右側面＞

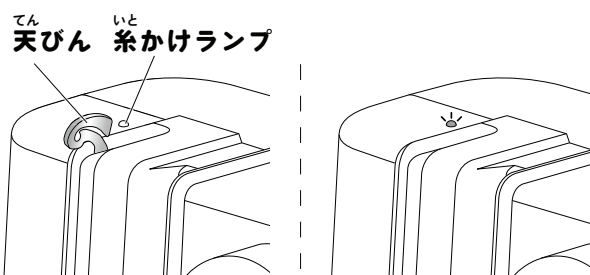


【7】『手回しハンドル』を手前に回して『天びん』を上げ、赤色に点滅している『糸かけランプ』を消します。

- *『手回しハンドル』を1回転させると、「カリカリ」という音が鳴る仕組みになっています。

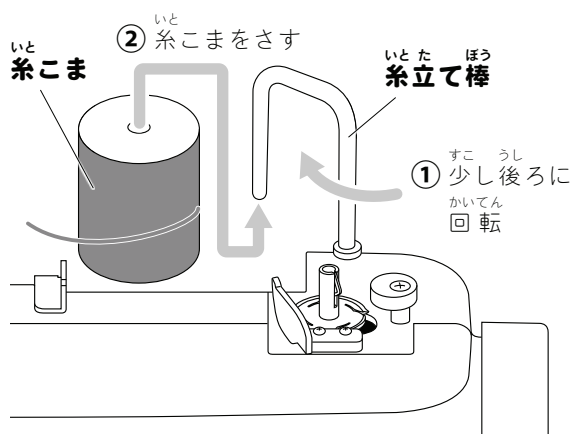
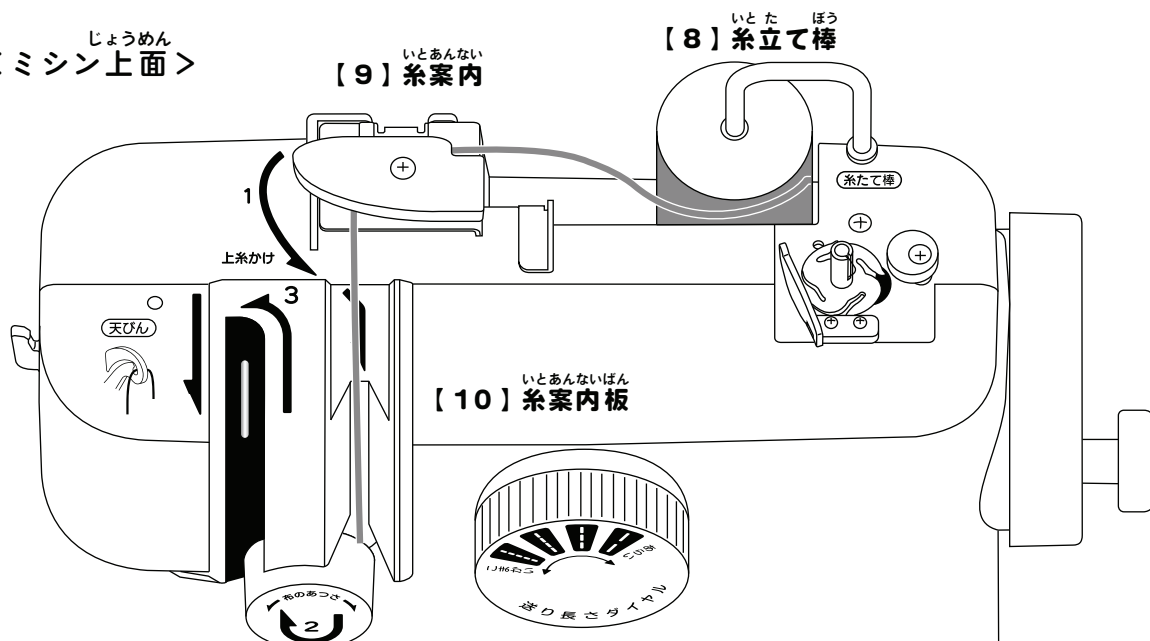
ポイント！

- 『安全針ガード』が開いていて『針』と『天びん』が上がっていると、『糸かけランプ』は消え、その他の位置では赤色に点滅します。

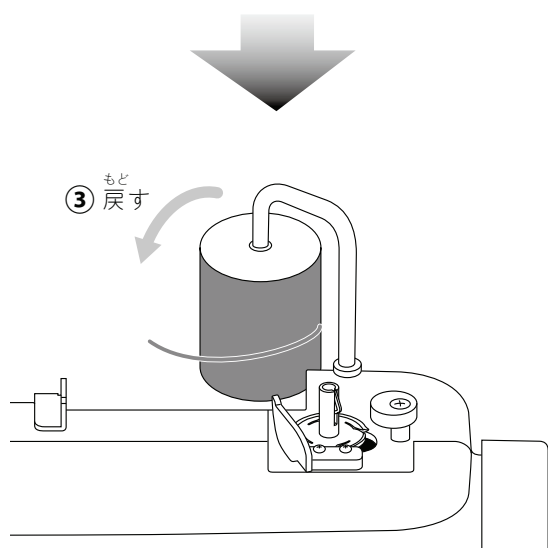


- *『糸かけランプ』が点滅しているときは、『針』や『天びん』が上糸をかけられない、またはかけにくい位置にあります。『手回しハンドル』を回して『糸かけランプ』が消える位置に合わせてください。

＜ミシン上面＞

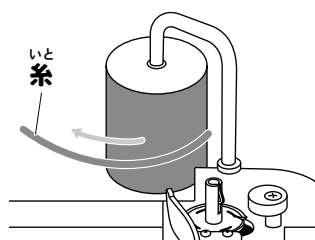


【8】『糸立て棒』を少し後ろに回転させて、糸が手前からほどけるように『糸こま』の向きを確認しながら、下からさし込みます。

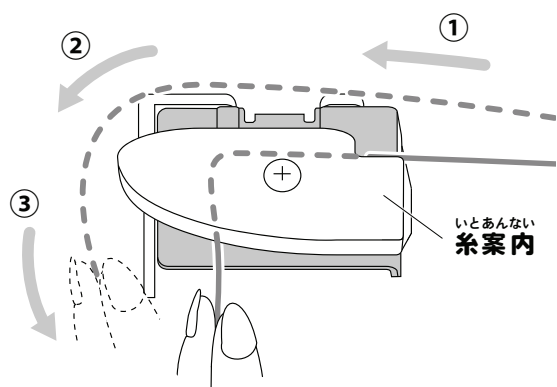


注意

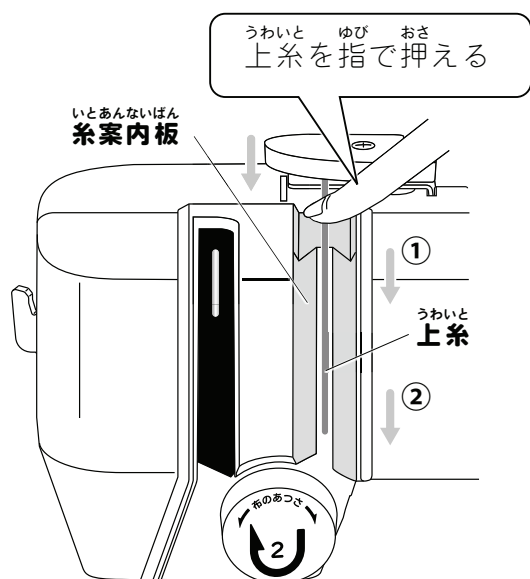
- 糸が手前からほどけるように『糸こま』の向きに注意してください。



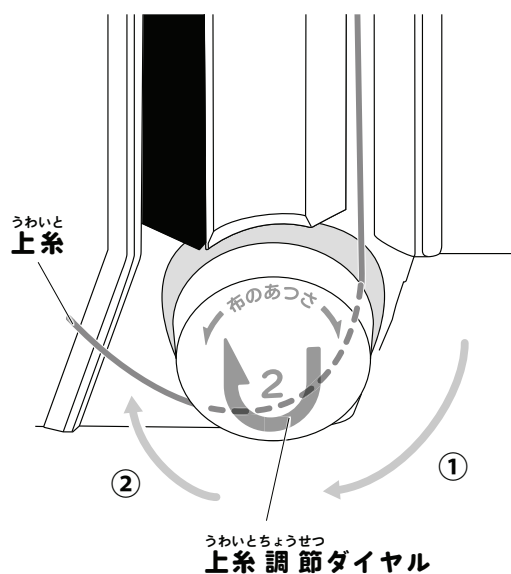
『糸こま』を持ったまま、『糸立て棒』を前に戻します



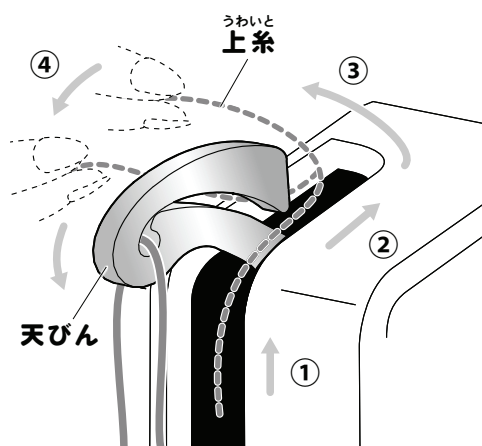
【9】糸を『糸案内』の下に通します。



【10】上糸を指で軽く押えながら、右側の『糸案内板』にそって、下ろします。



【11】『上糸調節ダイヤル』に通します。

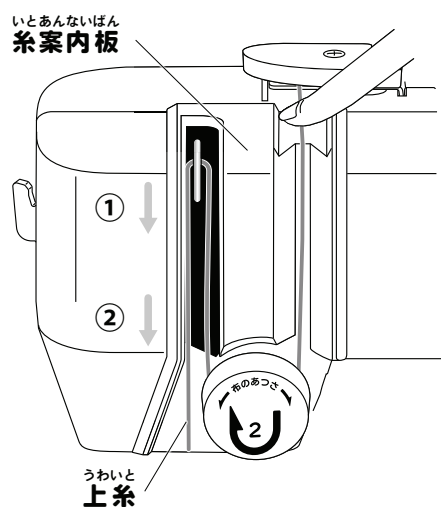


【12】上糸を左側の『糸案内板』にそわせて
ひき上げ、『天びん』の穴に右から左に
通します。

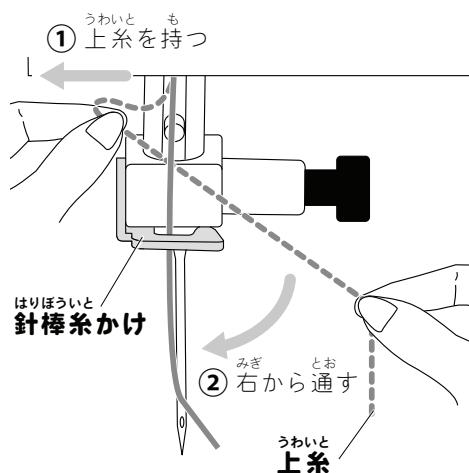


注意

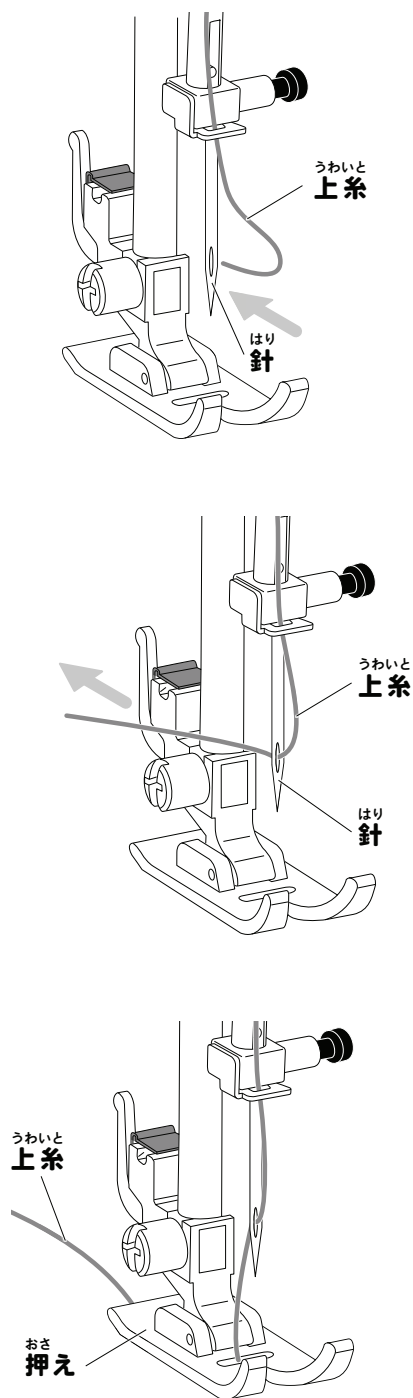
- 「天びん」から上糸がはずれている
と、糸が絡んで『手元ランプ/トラ
ブルランプ』が赤色に点滅して、
ミシンが動かなくなります。
- 「天びん」の奥に上糸が引っかから
ないように『天びん』に糸が通っ
ていることを確認します。



【13】左側の『糸案内板』にそって、下ろ
します。



【14】上糸を両手で持ち、『針棒糸かけ』に
右から上糸を通します。

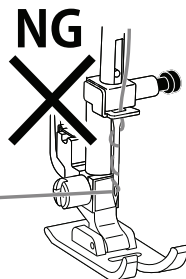


【15】針の穴に【前から後ろ】に上糸を
とお通します。

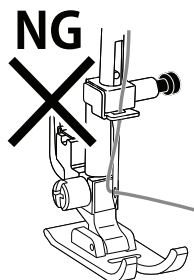


注意

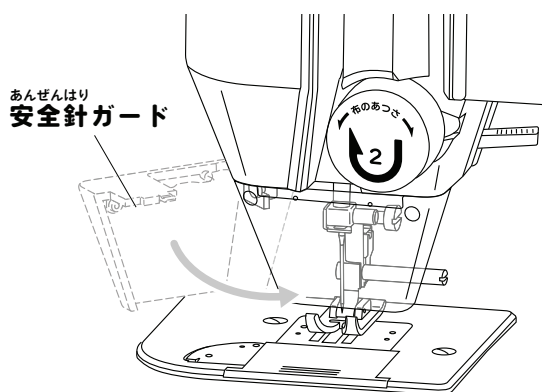
- 針に上糸が巻きついていると
正しく縫えません。



- 上糸を通す方向が逆の場合は
正しく縫えません。



【16】押えの下に糸を通します。



【17】『安全針ガード』を閉じます。

- *とうめいパステルは
『安全針ガード』を閉めると、ミシン
全体の白色のランプが消えます。
(『手元ランプ』は消えません)
- *ラブリーパステルは
『お知らせランプ』が消えます。

ぬ縫ってみよう



ちゅう い
注意

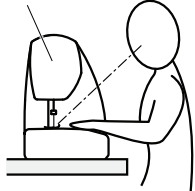


- てん ぐるま ちゅうい
■ 天びんやはずみ車に注意する。
- あんてい ばしょ せっち
■ 安定した場所にミシンを設置する。
- しゅうい もの お
■ 周囲に物を置かない。
- てん ぐるま うご ぶぶん ろしゅつ
天びんやはずみ車などの動く部分が露出しています。
- さぎょう じゅうぶん かくほ
■ 作業スペースを十分に確保する。
- エーシー かなら じゅんせいひん
■ ACアダプターは必ず純正品をしよう使用する。
- おそ
ケガをする恐れがあります。

ポイント！

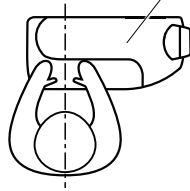
- ミシンをより快適に使うために
ぬ そん ふせ つぎ ため
縫い損じを防ぐため、次のことを試してください。

ミシン



はりさき むり み
針先が無理なく見え
る位置にミシンを
お置きます。

はり ちゅうしん
針の中心

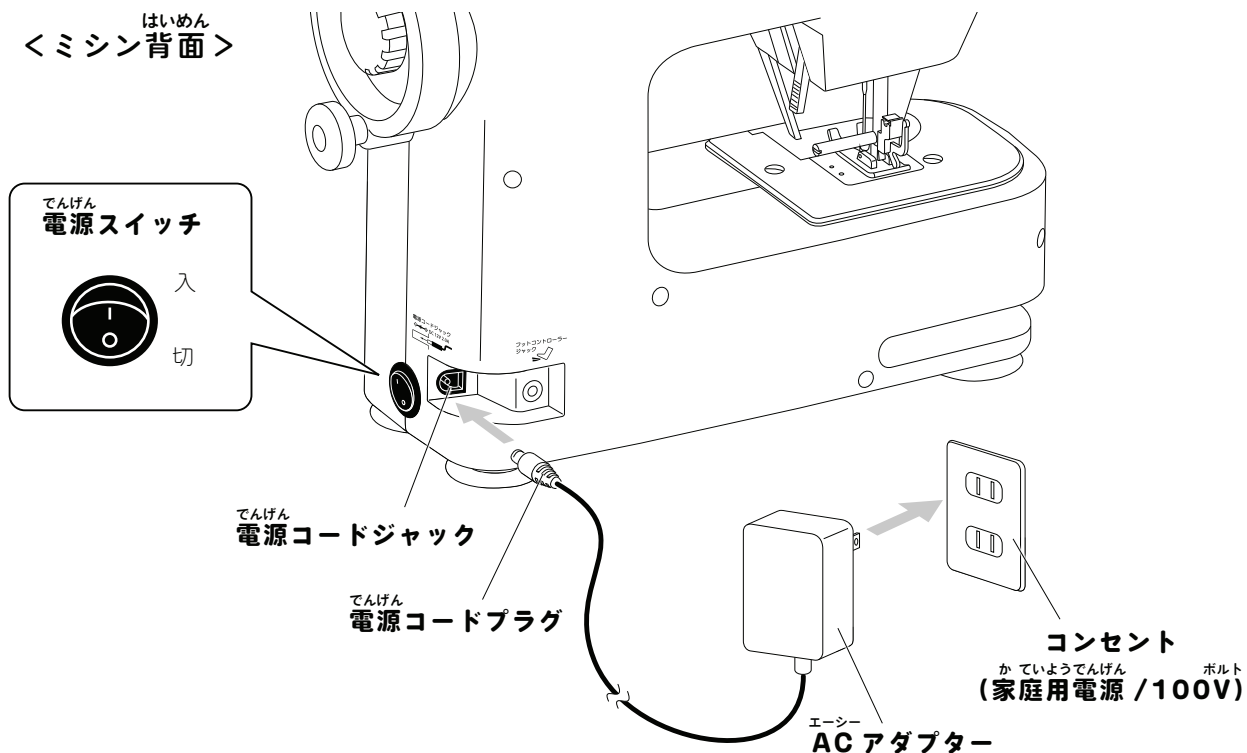


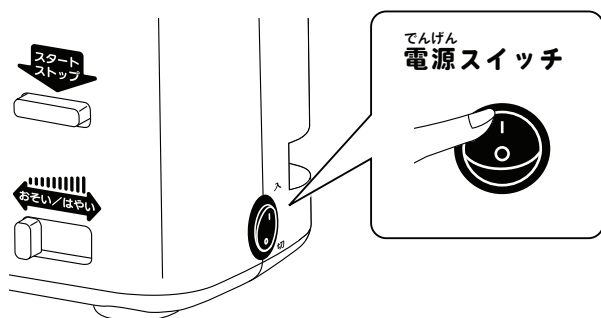
はり ちゅうしん からだ ちゅうしん
針の中心と体の中心が
一致するようにミシン
お置きます。

* 中心がずれていると布も
ずれて進んでいきます。

- 【1】『電源スイッチ』を「切る側」に押し、電源を切ります。
- 【2】『電源コードプラグ』をミシン本体の『電源コードジャック』にさし込みます。
- 【3】『ACアダプター』を『コンセント（家庭用電源 / 100V）』にさし込みます。

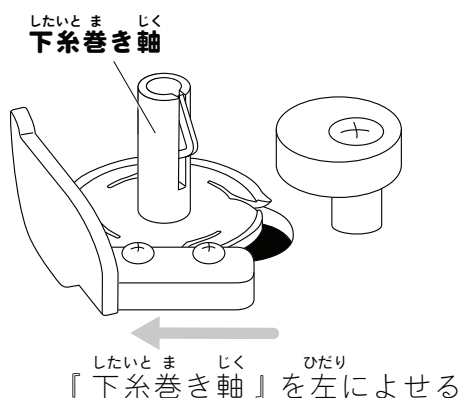
＜ミシン背面＞





【4】『電源スイッチ』を「入れる側」におでんげん押し、電源を入れます。

* 電源を入れると『手元ランプ』がひか光ります。

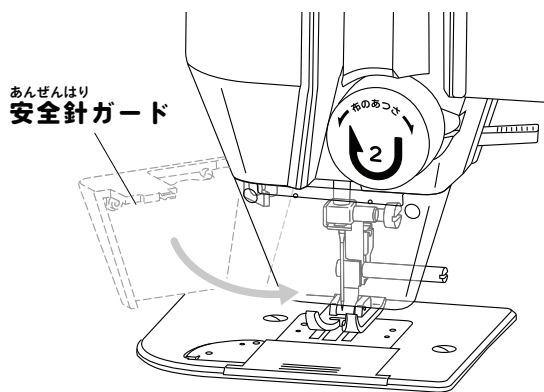


【5】『下糸巻き軸』が左側になっていることをかくにん確認します。



ちゅうい
注意

■ 『下糸巻き軸』が右側にあるとはりうご針は動きません。



【6】『安全針ガード』が閉まっていることをかくにん確認します。

* とうめいパステルはあんぜんはり『安全針ガード』を閉めると、ミシンぜんたいしろいろ全体の白色のランプが消えます。
(『手元ランプ』は消えませんが)

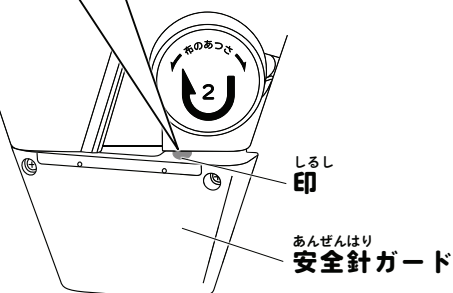
* ラブリーパステルはし『お知らせランプ』が消えます。

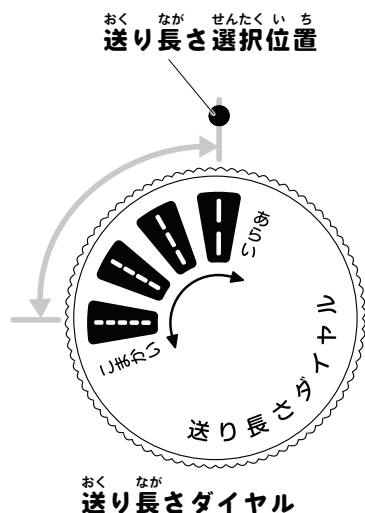


ちゅうい
注意

『安全針ガードの印』がしるしみ見えなくなる
いちしはりうご位置まで閉めない針は動きません。

NG
X





- 【7】『送り長さダイヤル』で布の進む長さを選びます。
(P52の送り長さダイヤルを参照してください)



注意

- 最初に『送り長さ・最大』または『大』に合わせてください。
『送り長さ・中』や『小』にすると、布の種類によっては進まなくなったり、糸が絡むことがあります。

上糸調節位置

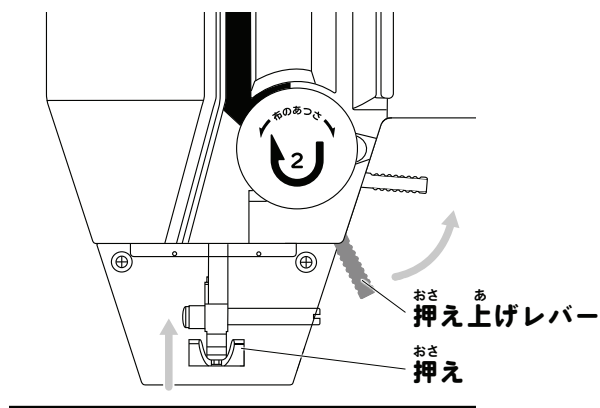


- 【8】『上糸調節ダイヤル』を「ふつう」に合わせてます。



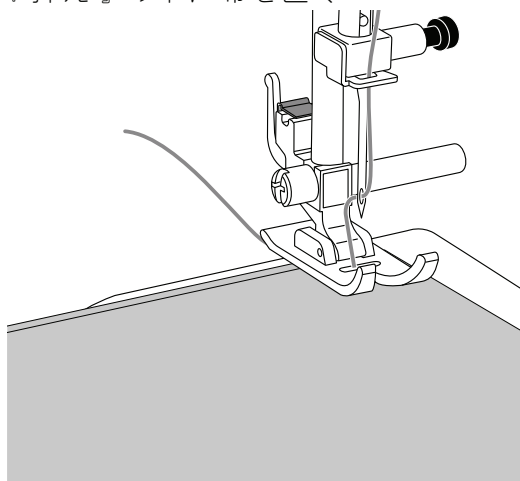
注意

- 布の厚さや種類によって『上糸調節ダイヤル』を回して調節します。
(P44の糸調子の合わせかたを参照してください)

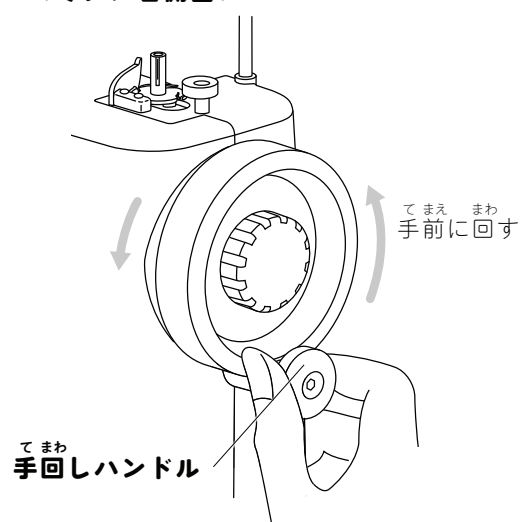


- 【9】『押え上げレバー（白・プラスチック）』で『押え』を上げます。

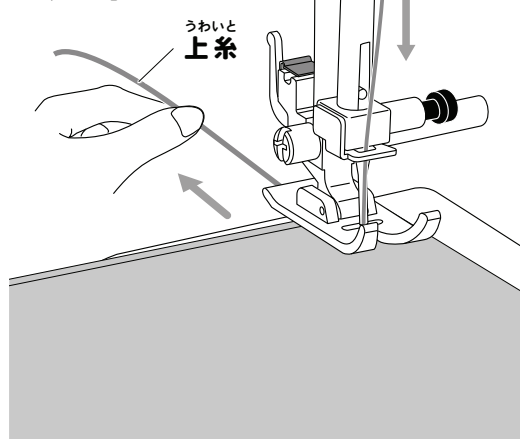
おさ した めの お
『押え』の下に布を置く



みぎそくめん
<ミシン右側面>



うわいと うし がわ も てまわ
上糸を後ろ側で持ちながら『手回し
ハンドル』を回す

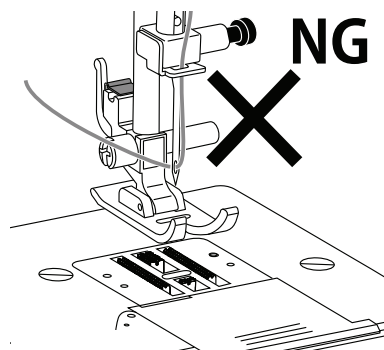


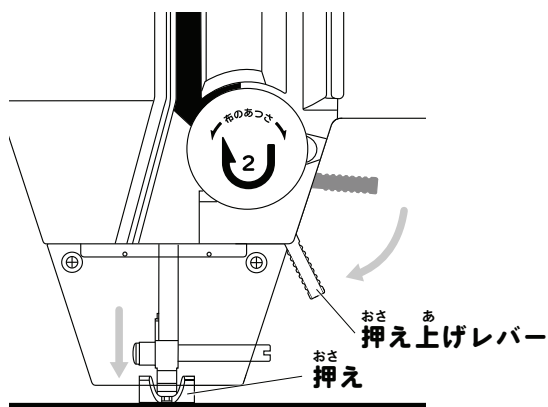
【10】 ぬの おさ した お うわいと
布を『押え』の下に置き、上糸をミシン
の後ろ側で持ちながら『手回しハンド
ル』をてまえ まわ め はじ いち
手前に回して、縫い始める位置に
はり さ 針を刺します。



注意

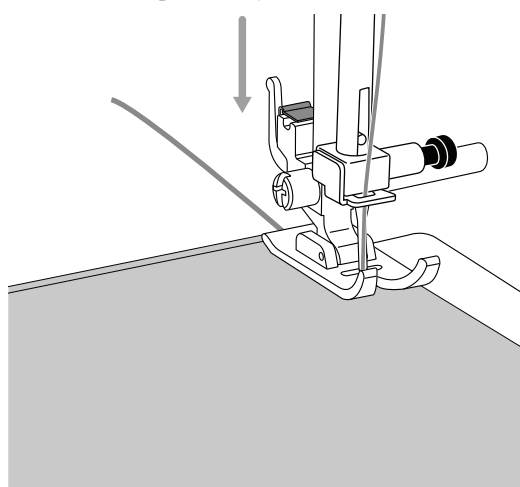
- うわいと うし がわ も はり
上糸をミシンの後ろ側で持ちながら針
をささないとうわいと ないぶ
を刺さないと、上糸がミシン内部でたる
み、縫い始めたときに糸が絡んでしまい
ます。
- おさ うえ いと め はじ
『押え』の上に糸があると縫い始めに
いと から
糸が絡むことがあります。
いと おさ した とお
糸は『押え』の下に通してください。



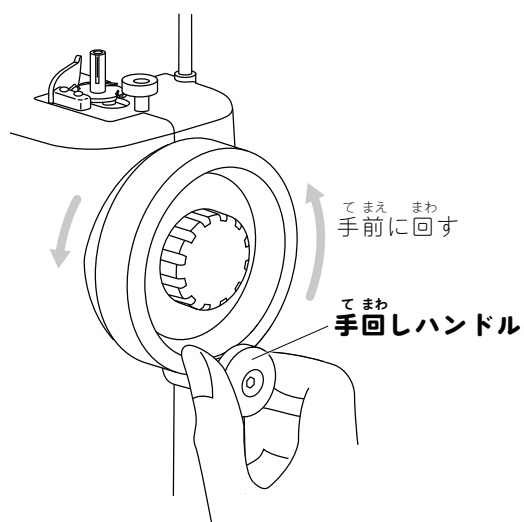


【11】『おさえ上げレバー（白・プラスチック）』
で『おさえ』を下げます。

『おさえ』を下げる



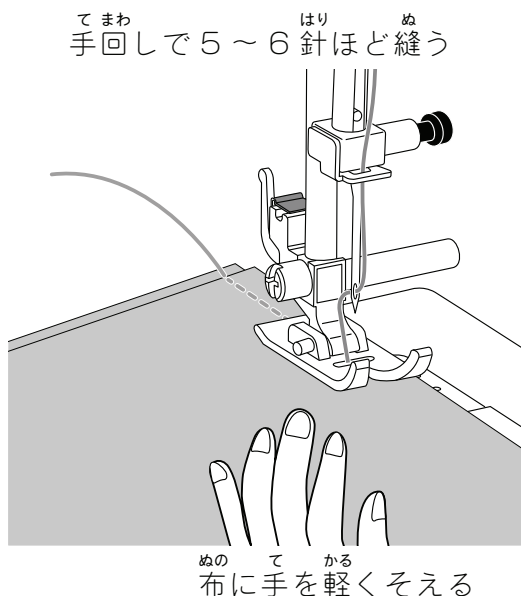
みぎそくめん
<ミシン右側面>



【12】『手回しハンドル』をてまえに回して、
5～6針縫います。

ポイント！

はじめて縫うときや久しぶりに使用する
とき、またトラブルの後などは、糸をか
ける前に手回しで5～6針動かし、ス
ムーズにミシンが動くか確認してくだ
さい。



【13】ぬの て かる ぬの すす ほうこう
布に手を軽くそえ、布の進む方向を
修正します。

ポイント！

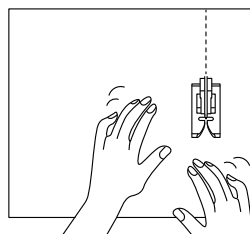
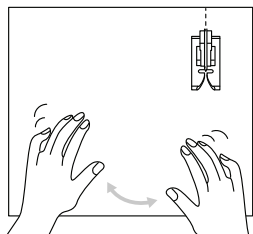
ぬの おく さい て うご
● 布を送る際の手の動かし方

ミシンが自動で布を送るため、布の送りの動きに合わせて手をやさしくそえて
ください。

ぬの ひ ば すこ ぬの すす ほうこう しゅうせい
布がゆがんできても引っ張ったりせず、少しずつ布の進む方向を修正してください。

ぬの て かる
布に手を軽くそえる

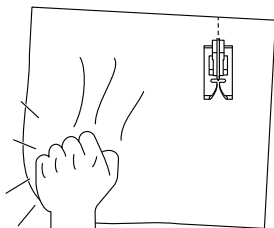
ぬの すす て い ち おお か
布が進んでも手の位置を大きく変えず、
ぬの すす ほうこう ほ じょ
布の進む方向をやさしく補助する



い か かた はり お げんいん
* 以下のやり方は、針が折れる原因となります。

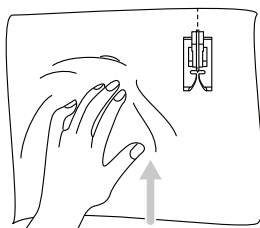
NG

ぬの お す
布を押さえ過ぎている



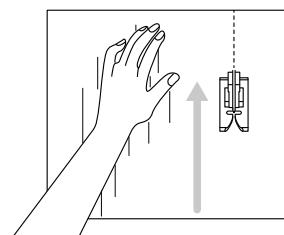
NG

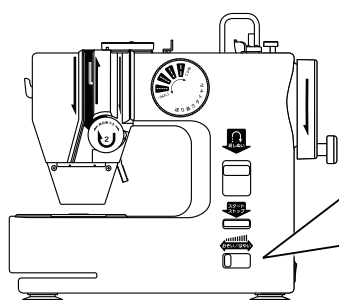
うご
ミシンの動きより
はや お すす
速く押し進める



NG

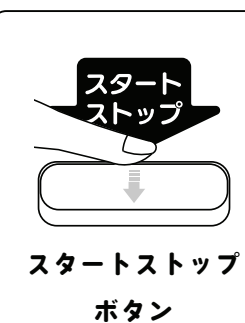
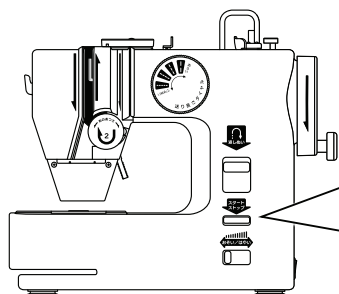
ぬの うご
布の動きにずっと
ついていく





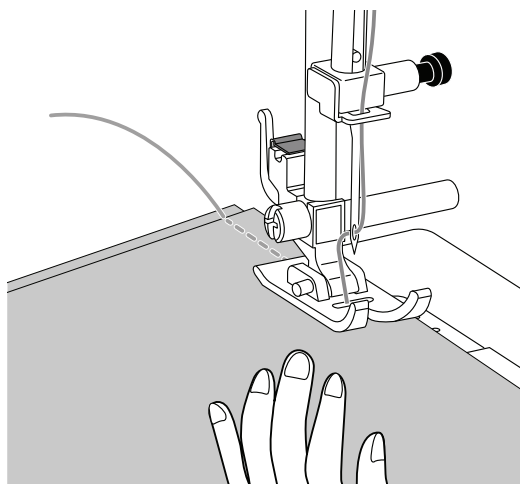
【14】『スピード調節ツマミ』を「おそい」
にあ合わせます。

* ミシンの動きに慣れるまでは「おそい」
速度で縫ってください。



【15】『スタートストップボタン』を上から
お押します。

ぬの て かる ぬの すす ほうこう
布に手を軽くそえ、布の進む方向を
修正します。

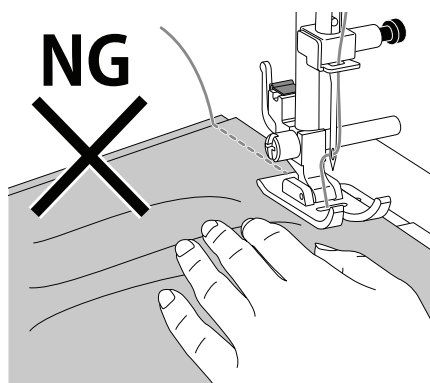


ぬの て かる
布に手を軽くそえる

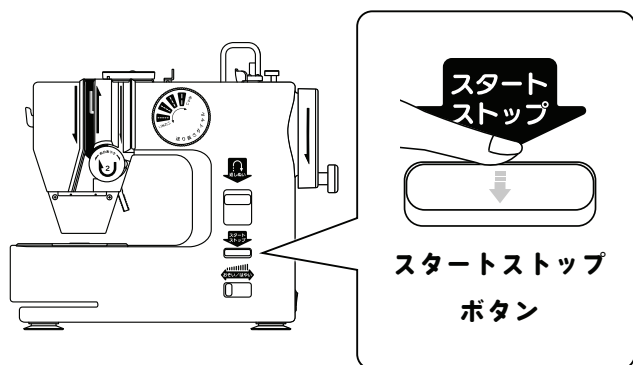


ちゅう い
注意

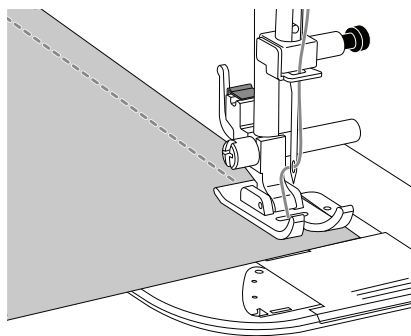
- ぬの て 布に手をそえるときは、つよ お 強く押さえ
つけたり 無理に押し進めたりしな
いください。



* ぬの おく さい て うご
布を送る際の手の動かしかたの
ポイントも確認してください。

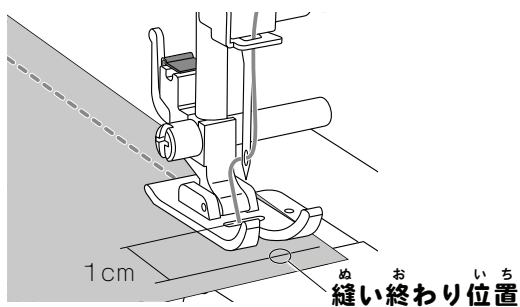


- 【16】縫^ぬい終^おわりまで縫^ぬったら『スタートストップボタン』を上^うから押^おして止^とめます。



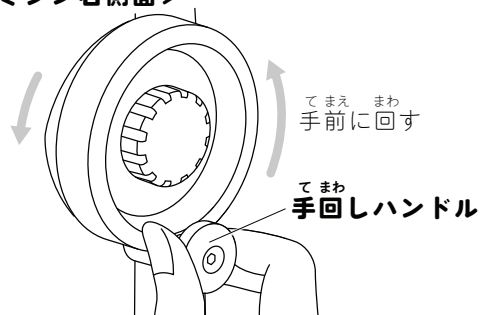
ポイント！

縫^ぬい方^{ほう}向^かを変^かえるときや返^{かえ}し縫^ぬいをするときは、布^{ぬの}の端^{はし}をこ^こ超^{ちゆう}えないように注意^いしてください。



1cm 手^て前^{まえ}で止^とめる

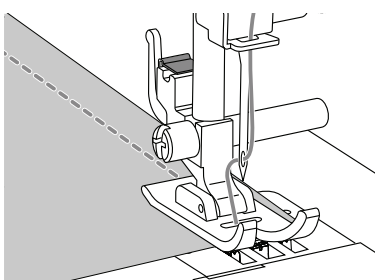
<ミシン右側面>

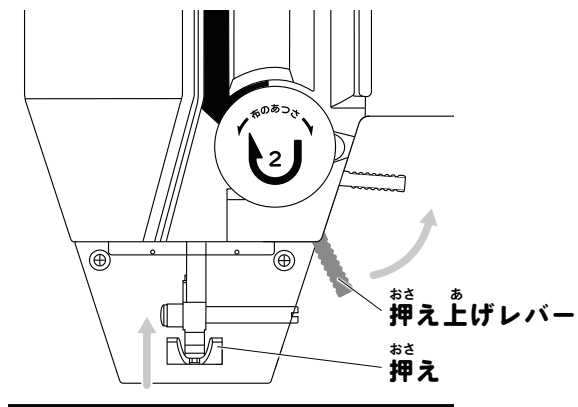


- 【1】縫^ぬい終^おわり位置^{いち}から 1cm 手^て前^{まえ}で止^とめます。

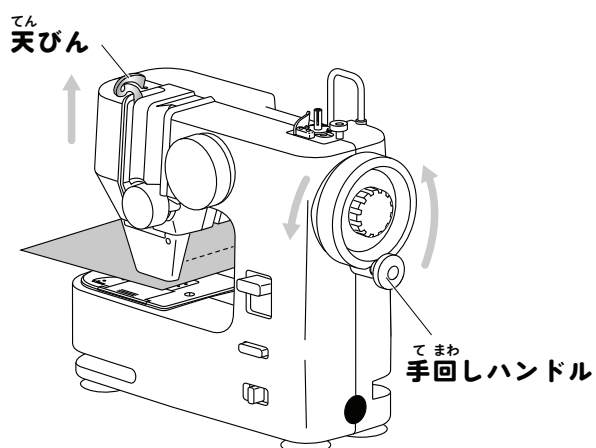
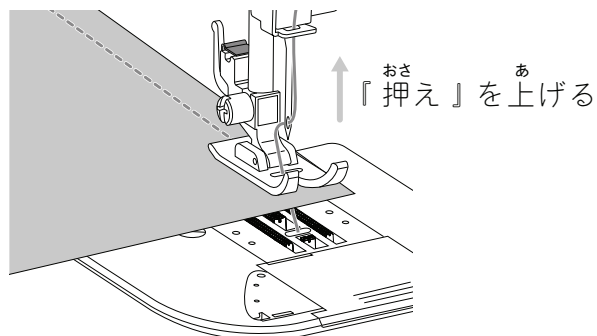
- 【2】縫^ぬい終^おわり位置^{いち}までの 1cm を『手回しハンドル』を手^て前^{まえ}に回^{まわ}して縫^ぬいます。

- 【3】縫^ぬい終^おわり位置^{いち}まで縫^ぬえたら、そ^あの^と後^{のち}は縫^ぬい方^{ほう}向^かを変^かえたり、返^{かえ}し縫^ぬいを行^{おこな}ったりします。





【17】『^{おさあ}押え上げレバー（^{しろ}白・プラスチック）』
で『^{おさあ}押え』を上げます。



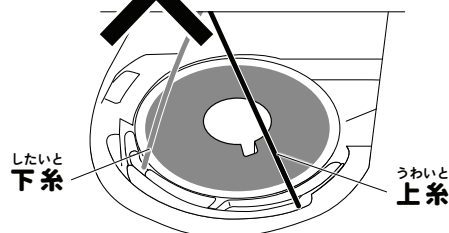
【18】『^{はり}針』と『^{てん}天びん』が上まで上がって
いることを確認して、布を^{うえあ}引き出します。



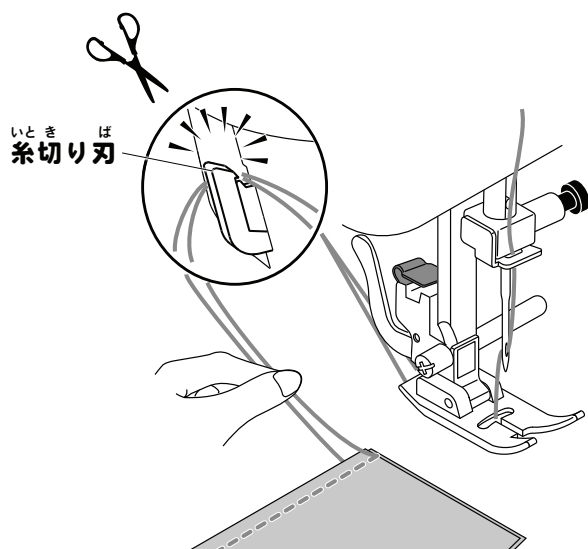
^{ちゅうい}注意

- ^{はり}針が上^あがっていても『^{てん}天びん』が上^あがっていないと、^{うわいと}上糸が『^{なか}かま』の中に^{のこ}残り、布をスムーズに引き出すことができません。
『^{てん}天びん』を上^あげることで、^{うわいと}上糸が『^かま』を^{つうか}通過して縫い始めの位置に戻ります。

X NG



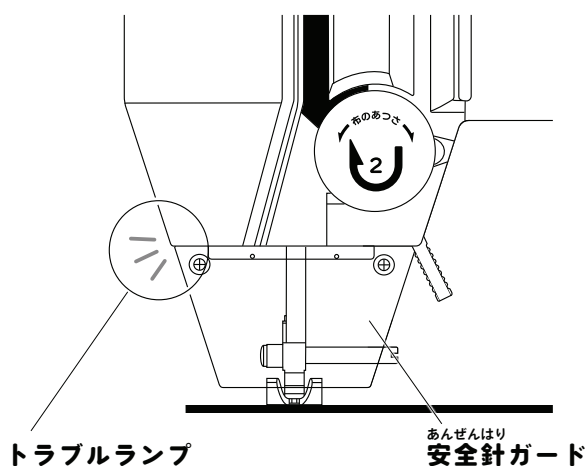
【19】『^{いと き}糸切り刃』で糸を切ります。



トラブルランプ

あやま つか 誤った使いかたをしたなら、ミシンがすぐにとまり、『トラブルランプ』が点滅してお知らせします。

● トラブルランプ 1

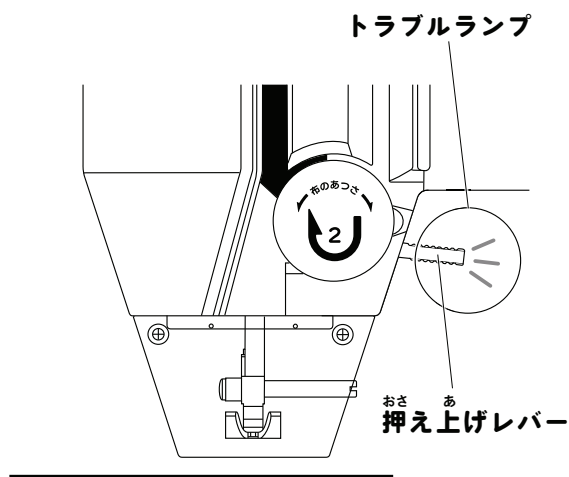


いと から 糸が絡んだなどでミシンが停止した場合、
安全針はり 安全針ガードのランプが赤色に点滅します。

* とうめいパステルは
安全針はり
『安全針ガード』のランプとミシン
ぜんたい 全体
のランプが点滅します。

* ラブリーパステルは
『お知らせランプ』が光ります。

● トラブルランプ 2



おさ あ 押え上げレバーが上った状態で、『スタートストップボタン』を押すと『押え上げレバー』のランプが赤色に点滅します。

* 『押え上げレバー』を下げていないと縫う
ことができません。

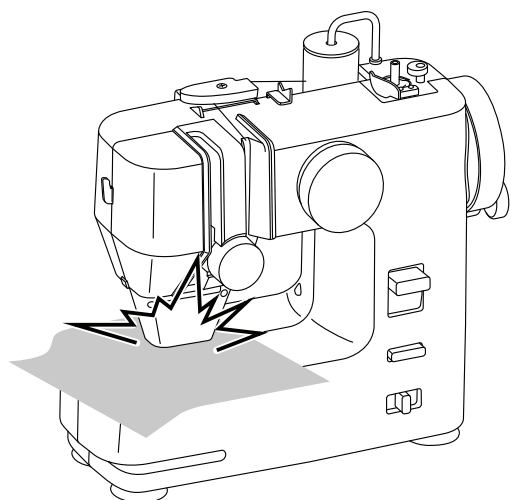
● 糸が絡んでしまったときは



ちゅう い
注意



- 縫っているとき、途中で止まったり、針が刺さらなくなったときは動かさないでください。
- 布を無理に引っ張ったり『はずみ車』を無理に回したりしないでください。
ミシンの故障の原因になります。



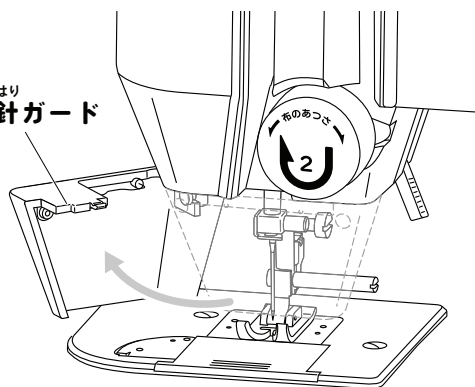
ちゅう い
注意

- 縫っているとき、途中で止まったり、針が刺さらなくなったときは『はずみ車』や『手回しハンドル』を回さず、以下の作業を行ってください。

みぎそくめん
<ミシン右側面>

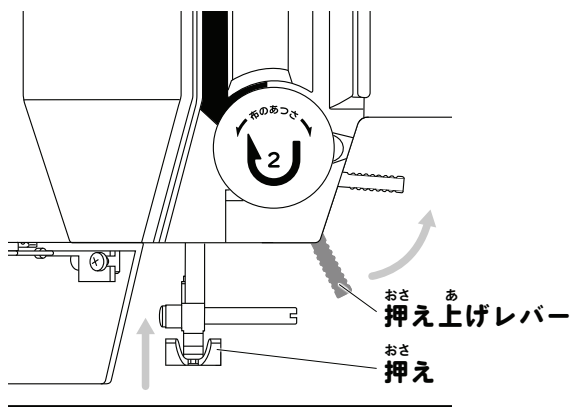


あんぜんはり
安全針ガード



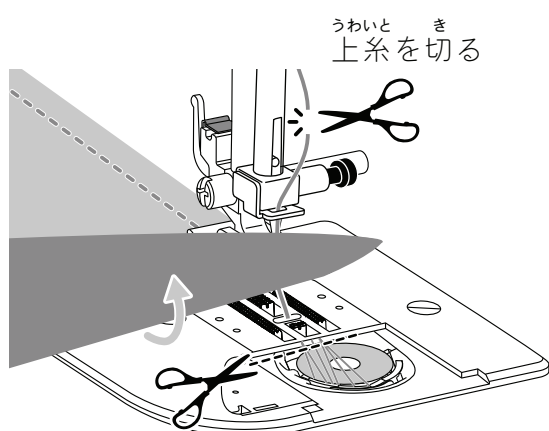
【1】『安全針ガード』を開きます。

- * とうめいパステルは
『安全針ガード』を開いていると、ミシン全体の白色のランプが光ります。
- * ラブリーパステルは
『お知らせランプ』が光ります。



【2】『^{おさあ}押え上げレバー（白・プラスチック）』
で『^{おさあ}押え』を上げます。

*『^{おさあ}押え上げレバー』を上げると、
『^{おさあ}押え上げレバー』のランプが消えます。



【3】^{はり てまえ うわいと き}針の手前で上糸を切ります。

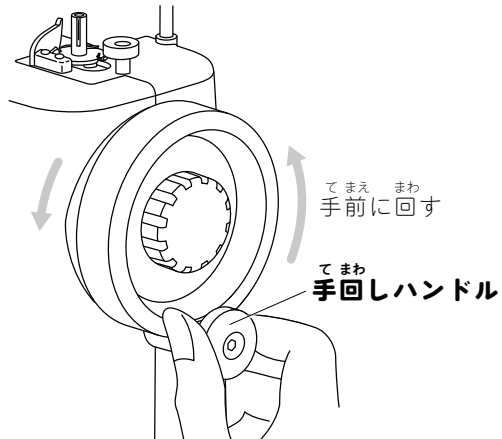
【4】『^{いた ひら}すべり板』を開きます。

【5】『^{なか から いと き}かま』の中で絡んだ糸を切ります。

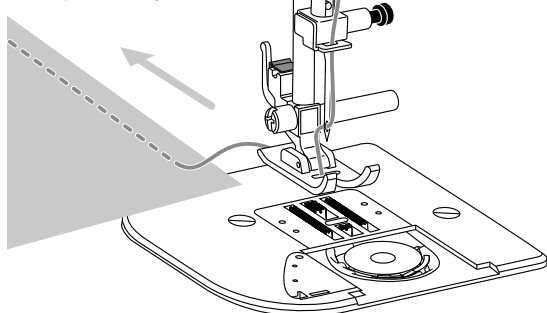
【6】『^{てまわ}手回しハンドル』が軽く回ることが
できたら^{はり あ めの と だ}針を上げて布を取り出します。

^{から いと き}絡んだ糸を切る

＜^{みぎそくめん}ミシン右側面＞

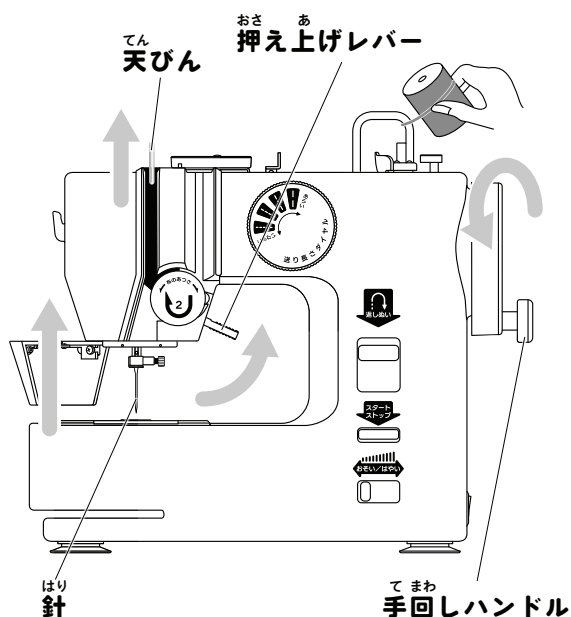


^{ぬの と だ}布を取り出す



ポイント！

- 糸を切っても布が取りはずせない場合は
『^{はり はりいた と めの}針』と『^{ばあい}針板』を取りはずしてから布を
と
取りはずしてください。
(『^{はり はりいた と}針』と『^と針板』の取りはずしは P64 の
^{はり こうかん}針の交換と P66 の^{さんしょう}かまのそうじを参 照
してください)



【7】『ボビンケース』に糸が絡むのは上糸
のかけかたに原因があることがほとん
どです。

すべての糸を取りはずし『天びん』
『針』『押え』を上げた状態で上糸を
正しくかけ直してください。

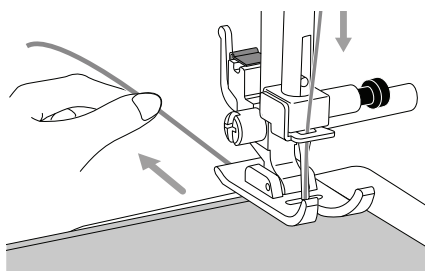
*『天びん』と『押え上げレバー』のラン
プが消える状態に合わせてください。

● 天びんや内部への糸の巻き込みに注意してください

糸のかけかたや操作によって『天びん』に糸が絡んでしまう場合があります。

- 縫い始めに上糸をミシンの後ろ側で持たないと
ミシンを作動させたときに針から糸が抜けて糸
が内部に巻き込まれる場合があります。

上糸を後ろ側で持ちながら、『手回
しハンドル』を手前に回す



- 天然素材の絹（シルク）や綿の糸（カタン糸）は保存状態により異なりますが
約1年で劣化し始めます。劣化した糸は切れやすく、切れた糸が内部に巻き込まれる
場合があります。新しい糸をご使用ください。

ポイント！

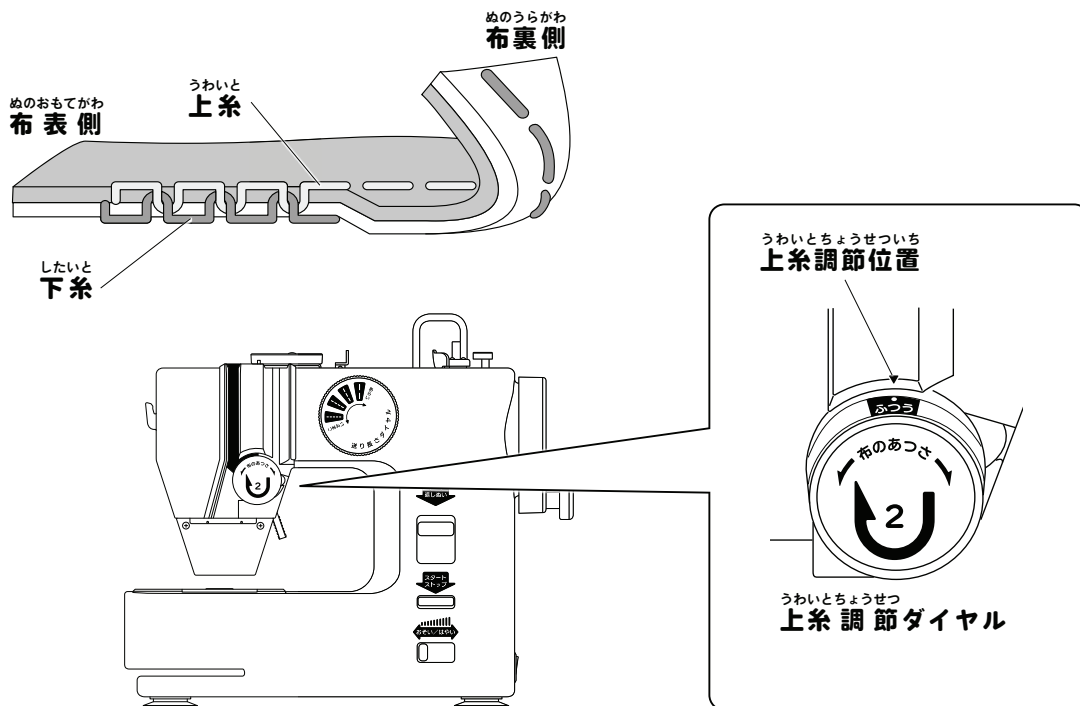
- 縫っている途中に【異常な音がする】【糸が切れた】【縫い目が飛ぶ】【布がかみ
込む】などのトラブルが発生した場合は、すぐにミシンを停止してください。
布を取りはずし、糸が絡んでいる場合は、絡んでいる糸を切って取り除いてください。
その後、ミシンから全ての糸をはずし、再度、正しく糸をかけ直してください。

いとちょうし あ 糸調子の合わせかた

いとちょうし あ ば あい うわいとちょうせつ まわ ちょうせつ おこ
糸調子が合わない場合は、『上糸調節ダイヤル』を回して調節を行ってください。

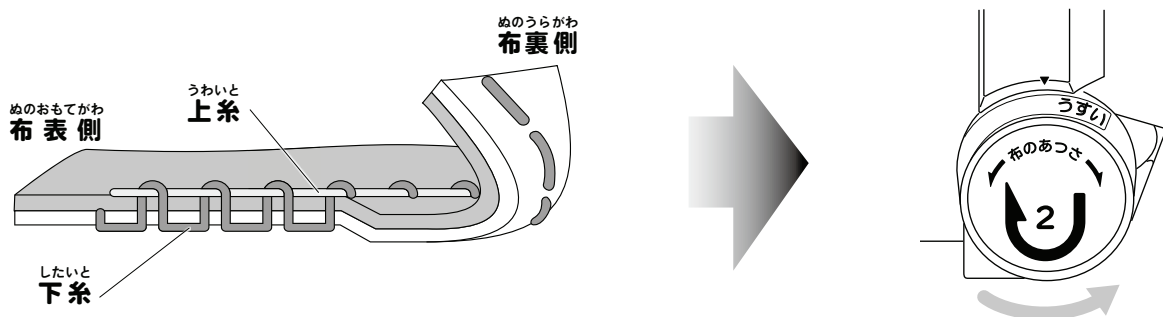
*『上糸調節ダイヤル』を変えても糸調子に変化が見られない場合、下糸のセットが
ただ 正しくない可能性があります。
(P22 の下糸のセットを参照してください)

● 正しい糸調節



● 上糸が強いとき

下糸が布の表側に出ています。

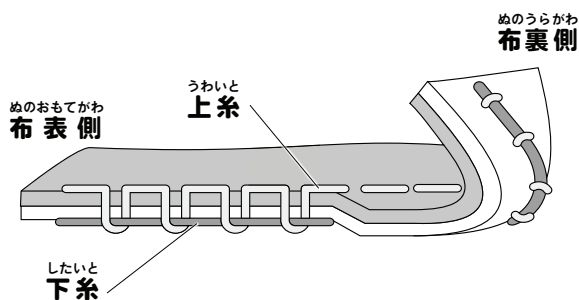


下糸の『ボビン』が正しくセットされているかも確認
してください。
(P22 の下糸のセットを参照してください)

下糸が布の表に出る場合
『上糸調節ダイヤル』を
「うすい」方へ回します。

● 上糸が弱いとき

上糸が布の裏側に出ています。



上糸のかけかたが正しいかどうかを確認

してください。

(P25の上糸のかけかたを参照してください)

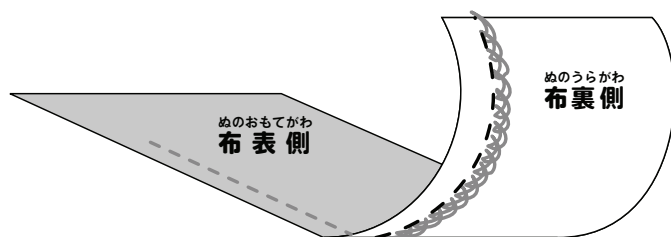


上糸が布の裏側に出る場合

『上糸調節ダイヤル』を

「あつ」方へ回します。

● 布の裏側の糸がタオル状になるときは



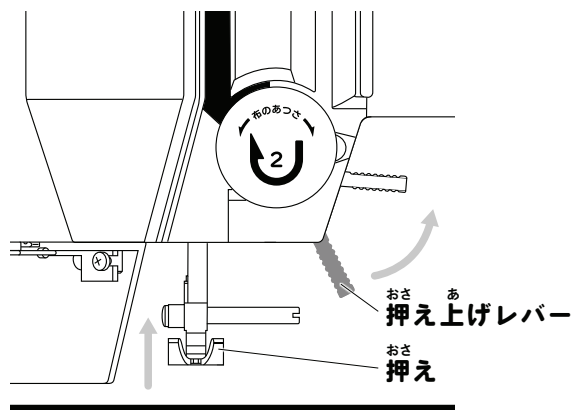
布の裏側の糸がタオル状になるときは以下の原因が考えられます。

- 上糸のかけかたが間違っている (P25)
- 『押え上げレバー』が上がっている (P53)
- 『かま』に傷がある (P66)
- 上糸の糸調子が弱すぎる (P44)
- 『ボビン』の種類が異なる (P10、P15)

ポイント！

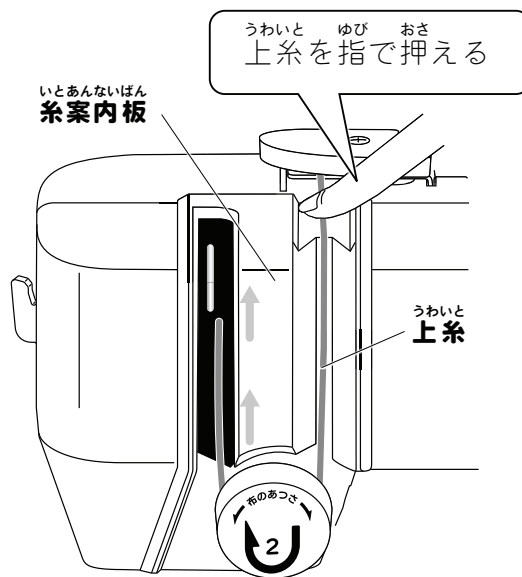
『押え』を上げ、上糸を全てはずし、正しくかけ直してください。
 (P25 の上糸のかけかたを参照してください)

* 上糸をかけ直すとき、以下の図に注意してください。



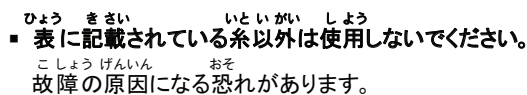
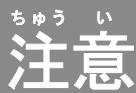
『押え上げレバー（白・プラスチック）』
 で『押え』を上げます。

* 『押え』が下がったままでは、糸を
 正しくかけることができません。



上糸を押さえながら『糸案内板』
 にそって、糸を通します。

いと はり めの かんけい
糸、針、布の関係



このミシンには、縫い目が飛ぶなどのトラブルを防ぐために 14 番のニット用の針が標準で
 装備されています。

- 以下の表は参考です。必ず**試し縫い**（**試し縫い**とは、本番の前にハギレなどを縫って、糸の調子や布の具合を見て、きれいに縫えるのか確かめることです）をして縫い目を確認してください。

	ぬの しゅるい 布の種類	はり しゅるい 針の種類、 ばんごう 番号	いと しゅるい 糸の種類、 ばんごう 番号	
うすぬの 薄布	いっぱんうらじ 一般裏地、ローン、レース、 ジョーゼット、キュプラ、 オーガンジーなど	9、11 ばん 番	めん 綿 きぬ 絹 かせんいと 化繊糸	60～100 50～90 50～90
ふ っうぬの 普通布	いっぱんぬの 一般布、ブロード、 ソフトデニム、サテン、 パイル、ギンガムなど	11、14 ばん 番	めん 綿 きぬ 絹 かせんいと 化繊糸	60～90 50～90 60～90
あつぬの 厚布	キルティング、フリース、 ツイード、フェルト、 デニムなど	14、16 ばん 番	めん 綿 きぬ 絹 かせんいと 化繊糸	50 50 50～60
しんしゆくぬの 伸縮布	ニット、スパンデックス、 トリコット、ジャージなど	よゆう はり ニット用の針 ばん 11、14 番	めん 綿 かせんいと 化繊糸 よゆういと ニット用糸	60 50～90 50～90

- 針は数字が大きくなるほど太くなります。 ● 糸は数字が大きくなるほど細くなります。
- (針の交換は P64 の針の交換を参照してください)
- きれいに縫うためには、布に合った針と糸をご使用ください。(上記の表を参照してください)
- 上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。
- 針はニット用の針の 14 番のみを付属しています。(普通布にもご使用できます)
- 普通布用の 9 番、11 番、14 番、16 番の針は付属しておりません。
- ニット用の針の 11 番は付属しておりません。

- 針は家庭用のニット用ミシン針（HA × 1 SP）、糸は家庭用ミシン糸をご指定の上お買い求めください。
- 厚い布や固い布は、針が刺さりにくく止まってしまうことがあります。
『手回しハンドル』を手前に回しながらゆっくり縫い進めてください。
（手で回すことができない場合は『手回しハンドル』を無理に回さないでください）
- 糸は古くなると劣化し、切れやすくなるほか、糸調子が強くなる場合があります。
（天然素材の絹の糸（シルク糸）や綿の糸（カタン糸）は保存状態により異なりますが、約1年で劣化し始めます）
- ミシン糸と手縫い糸では糸の撚り（ねじれ）方向が逆になります。
手縫い糸（右撚り）はミシンで使用すると糸がほどけて縫うことができません。
ミシン糸と表記のある糸でも右撚りになっている糸もありますので注意してください。
- カタン糸、ニット用糸、テグス糸（透明）の糸は、縫製に技術が必要なのでおススメはできません。

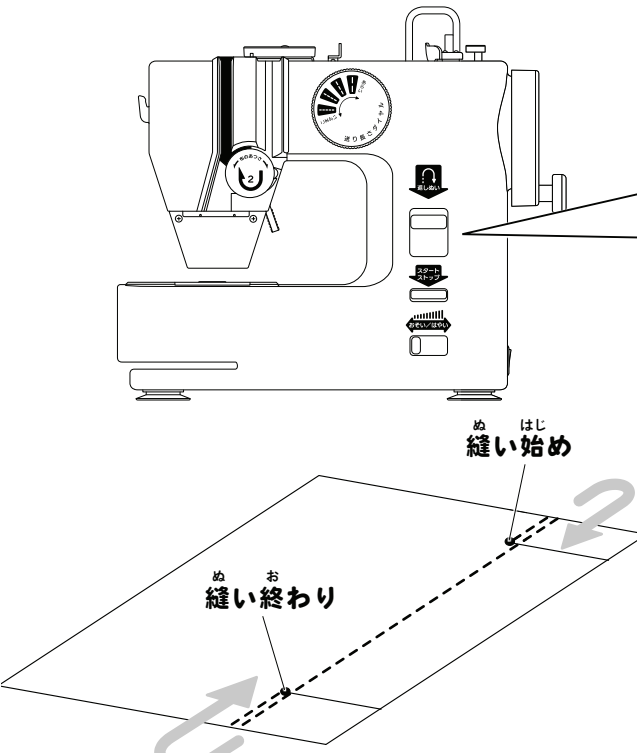
かえぬ 返し縫い



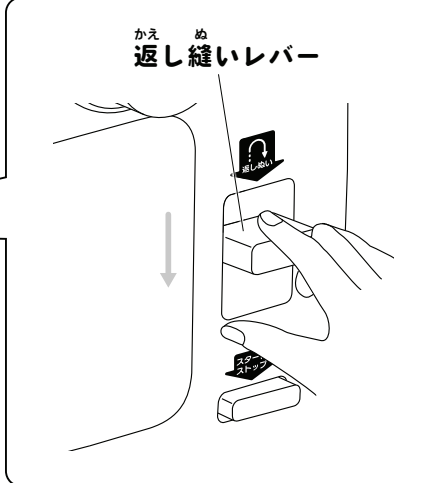
ちゅうい
注意

はりさき ちゅうい
■ 針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

はり ぬの さ じょうたい かえ ぬ
■ 針が布に刺さった状態で返し縫いレバーを押さない。
はり お おそ
針が折れ、ケガをする恐れがあります。



かえぬ
返し縫いレバー

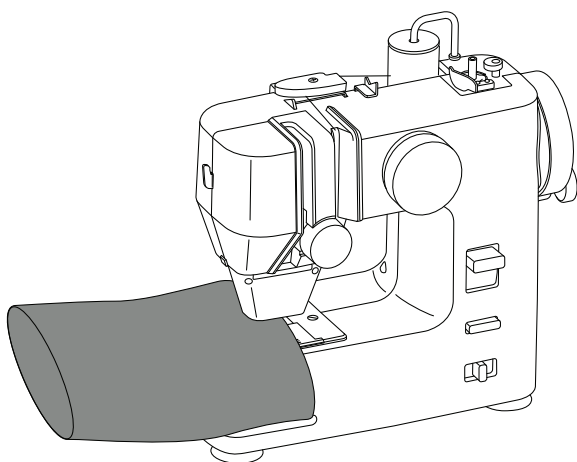


かえぬ
『返し縫いレバー』を押し下げている間は
ぎやくむぬ
逆向きに縫います。

ぬ はじ ぬ お かえ ぬ
* 縫い始めと縫い終わりに返し縫いをする
ふせ
糸がほどけるのを防ぐことができます

フリーアーム

フリーアームとは、筒状のものを縫う機能です。



ズボンの裾や袖のような筒状のものを左側からさし込んで縫うことができます。



注意

- 筒状のものが細い場合、縫っている際に布が動かず、糸が絡んでしまうことがあります。
- フリーアームより細い筒状のものは押えの上側をまわすように縫います。

厚い布や段差を縫う



注意



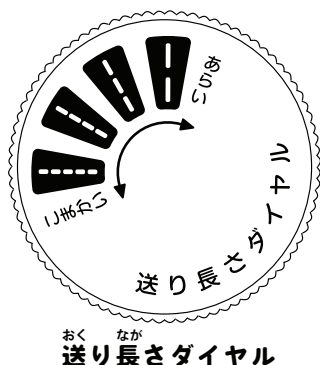
- 手で『手回しハンドル』または『はずみ車』を回しても固いときは『手回しハンドル』または『はずみ車』を無理に回さないでください。故障の原因になる恐れがあります。

● 厚い布や固い布は『送り長さダイヤル』を最大にしてください。

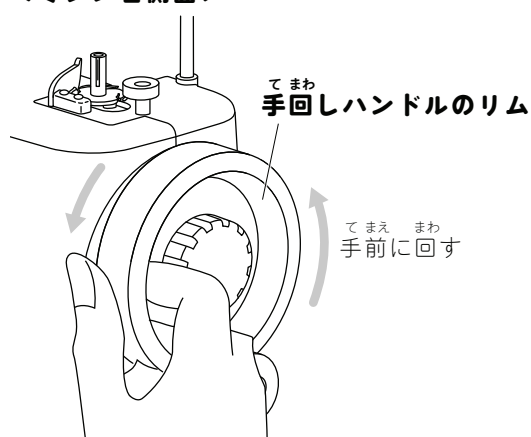
● 厚い布や固い布は針が刺さりにくく止まってしまうことがあります。

そのときは、手で『手回しハンドル』の『リム』を持ち、手前に向かってゆっくり回しながら縫い進めてください。

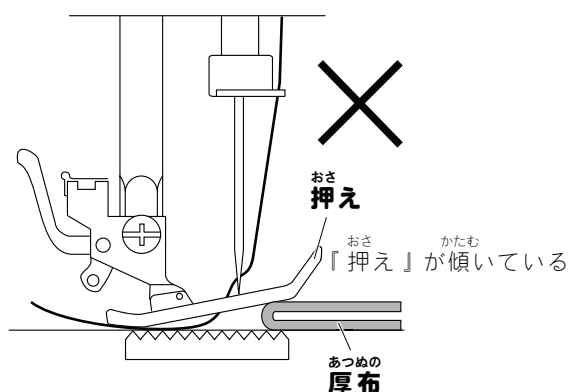
送り長さ選択位置



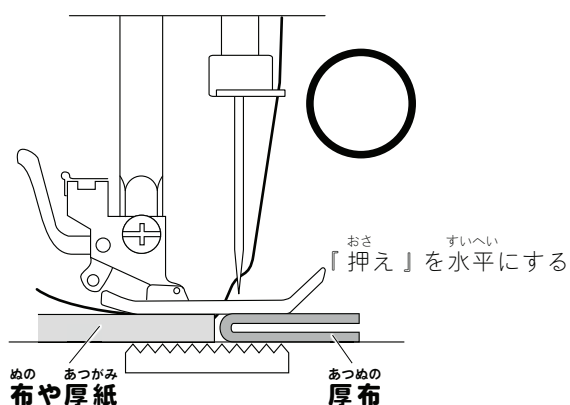
＜ミシン右側面＞



● おさ 押えの傾き



- 【1】 厚い布を布端から縫い始める場合や、カバンの持ち手を縫う際に『押え』が傾くと、布が『押え』の下に入りにくくなり、布の送りがスムーズに行われず布が進まなくなることがあります。

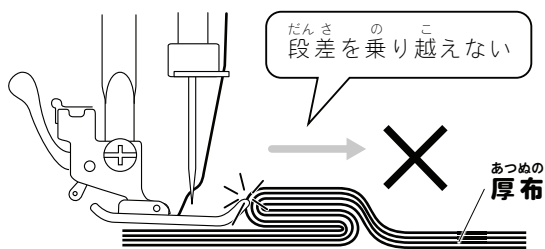


- 【2】 その場合、『押え』の下に布と同じ厚さの布や厚紙を挟んで傾きを無くすとスムーズに縫い始めることができます。

ポイント！

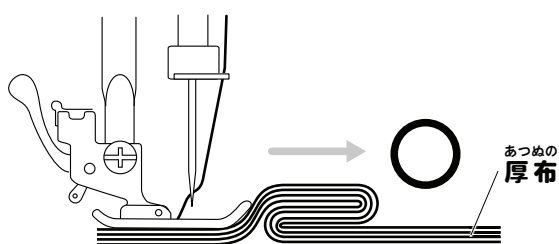
- タオル生地を縫う際は、両端の耳を切り落としてから縫ってください。
- 厚い布を縫う場合、使用する糸は50番または60番をおすすめします。
30番の糸は使用しないでください。
また、厚い布を縫う際は、針が曲がりやすいため、市販の家庭用ミシン針16番の使用をおすすめします。
- ミシンに縫える以上の抵抗がかかった場合、故障を防ぐために『手回しハンドル』が空転する仕様になっています。

● 厚い布の段差



【布が送りにくい】

厚い布の折り重なった部分の方向に注意してください。
『押え』が布に引っかかり縫い進むことができません。

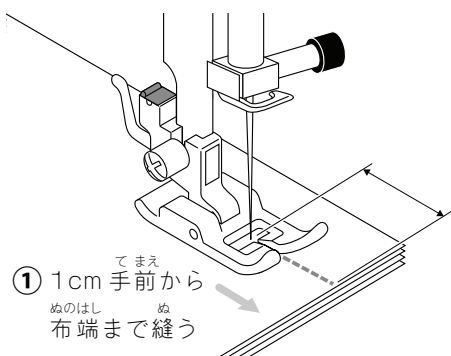


【布が送りやすい】

厚い布の折り重なった部分は坂から縫うほうが縫いやすいです。

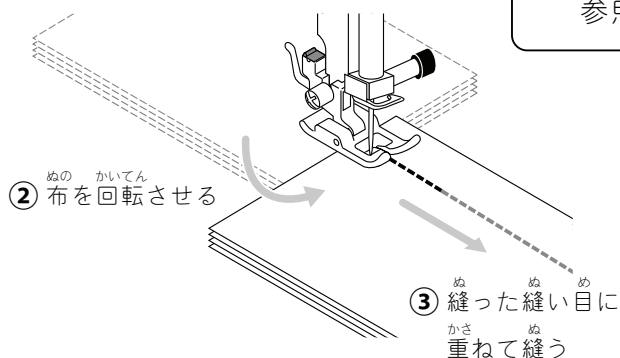
● 厚い布の返し縫い

厚い布を返し縫いする際に『返し縫いレバー』を操作すると、針が曲がる場合があります。
針の曲がりを防ぐため、布を回して返し縫いをします。



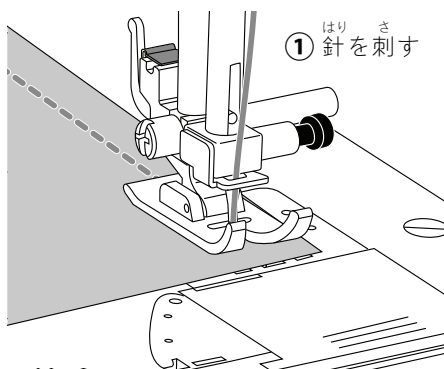
- 【1】 進行方向と逆に布を置き、布端から1cm 手前の位置に針を刺し、そこから布端まで縫います。

* 段差に注意 (P49 の厚い布や段差を縫うを参照してください)



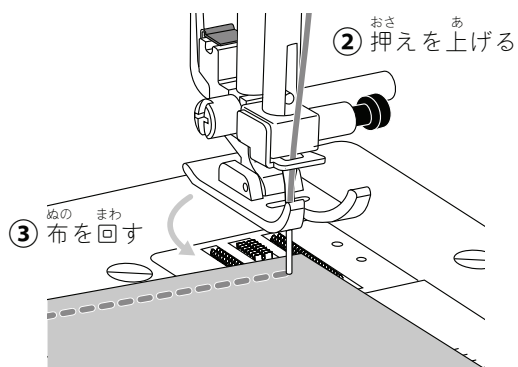
- 【2】 針を刺した状態のまま、『押え上げレバー (白・プラスチック)』で『押え』を上げ、布を回転させます。
- 【3】 その後、『押え上げレバー (白・プラスチック)』で『押え』を下げ、先ほど縫った縫い目に重ねて縫います。

ぬ ほうこう か 縫い方向の換えかた



【1】 ぬの かど ぬの ほうこう
布の角まで縫ったらミシンを止め、
『手回しハンドル』を手前に回して
はり ぬの ふか さ
針を布に深く刺します。

【2】 『押え上げレバー（白・プラスチック）』
を操作して『押え』を上げます。

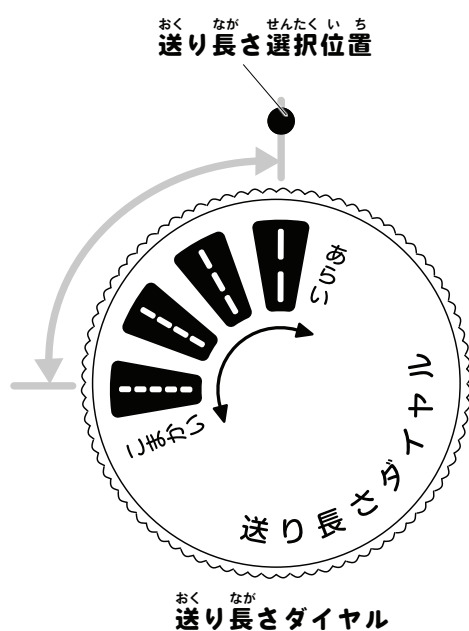


【3】 はり じく ぬの かいてん ぬ ほうこう
針を軸に布を回転させ、縫う方向を
か
変えます。

【4】 『押え上げレバー（白・プラスチック）』
を操作して『押え』を下げ、縫い始めます。

* 角を縫う際は布がかみ込みやすいため注意
してください。『手回しハンドル』で数針
進めると、かみ込みを防ぐことができます。

おく なが 送り長さダイヤル



おく なが 送り長さダイヤルを回し、『送り長さ選択
位置』にお好みの送り長さに合わせます。

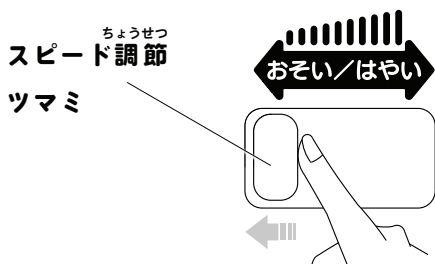
* 『送り長さダイヤル』は左右どちらにも回せ
ますが、矢印で示された範囲内でのみ回ります。

表示	1	2	3	4
送り長さ	小	中	大	最大

ちよくせんぬ なか きせん
* 直線縫い（中基線）

スピード調節つまみ

『スピード調節つまみ』を操作することで、ミシンの運転速度を調節できます。



● ゆっくり縫うとき

『スピード調節つまみ』を「おそい」側にスライドさせます。



● はやく縫うとき

『スピード調節つまみ』を「はやい」側にスライドさせます。

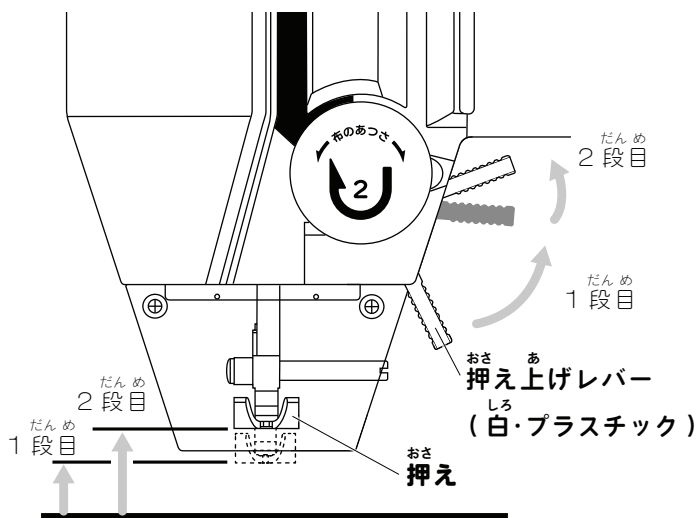
おさえ上げレバー



注意



針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



『おさえ上げレバー (白・プラスチック)』を上げると、『おさえ』が上がります。

さらに、『おさえ上げレバー (白・プラスチック)』をもう一段上げると、『おさえ』がさらに上がる2段階式になっています。

- * 2 段目では『おさえ』の高さは固定できません。
- * 布の厚みは 1 段目の高さを超えないようにしてください。

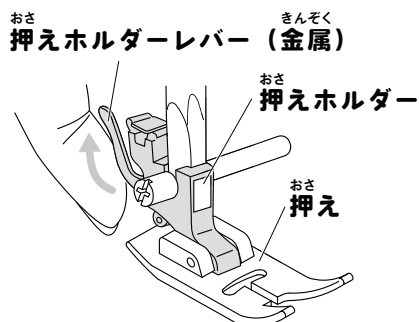
おさ と っ 押えの取りはずし・取り付け



ちゅう い
注意

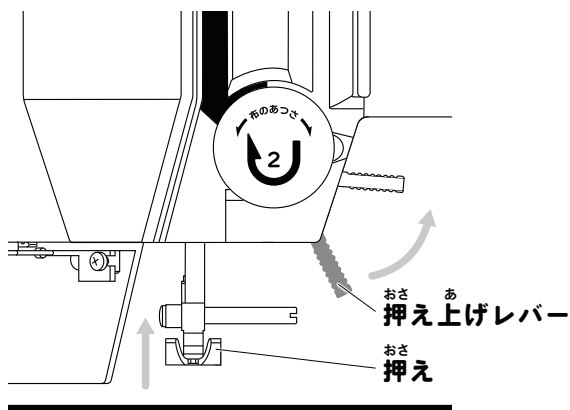


- はりさき ちゅう い
針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。



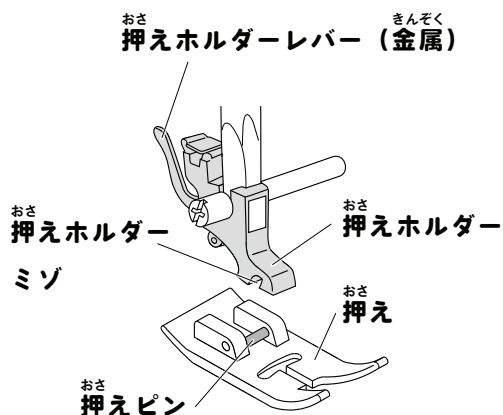
● おさ と 押えの取りはずし

- 【1】『おさ 押え上げレバー (白・プラスチック)』を上げます。
- 【2】『てまわ 手回しハンドル』をてまえに回し、はり 針を上げます。
- 【3】『あんぜんはり 安全針ガード』をひらきます。
- 【4】『おさ 押えホルダーレバー (金属)』を上げると『おさ 押え』がはずれます。



● おさ と っ 押えの取り付け

- 【1】『おさ 押え上げレバー (白・プラスチック)』を上げます。
- 【2】『てまわ 手回しハンドル』をてまえに回し、はり 針を上げます。
- 【3】『おさ 押えピン』を『おさ 押えホルダーミゾ』のました お 真下に置きます。
- 【4】『おさ 押え上げレバー (白・プラスチック)』をゆっくり下げ、『おさ 押えピン』と『おさ 押えホルダーミゾ』をあわせて装着します。



ポイント！

- 『おさ 押え上げレバー』を操作しても、『おさ 押え』が持ち上がらない場合は、『おさ 押えピン』と『おさ 押えホルダーのミゾ』の位置が合っていない。位置を微調整し、再度取り付けを試してください。

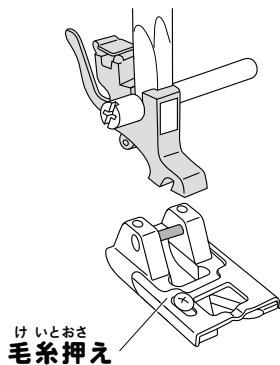
け いとおさ つか 毛糸押えの使いかた



ちゅう い
注意



はりさき ちゅう い
■ 針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。



【1】『押え上げレバー（白・プラスチック）』
を上げます。

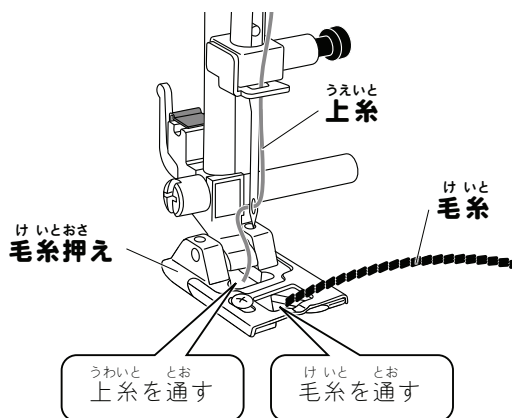
【2】『手回しハンドル』を手前に回し、針を
上げます。

【3】『安全針ガード』を開きます。

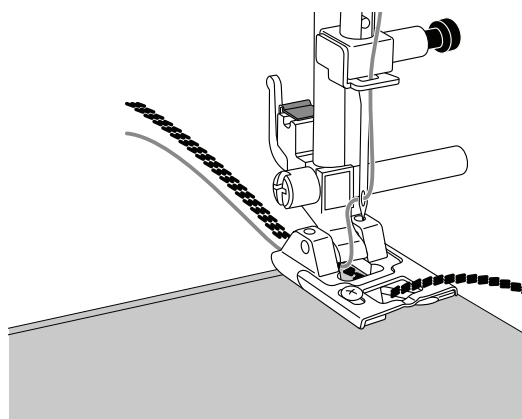
【4】『毛糸押え』に交換します。

*『押え』の交換は P54 の押えの取り
はずしを参照してください。

*『毛糸押え』が取り付けにくい場合は
『押え上げレバー』を 2 段目まで上げて
ください（P53 の押え上げレバーを参
照してください）



【5】毛糸押えに毛糸と上糸を通します。



【6】『安全針ガード』を閉めます。

【7】布を置いて縫います。
（P31 の縫ってみようを参照して
ください）

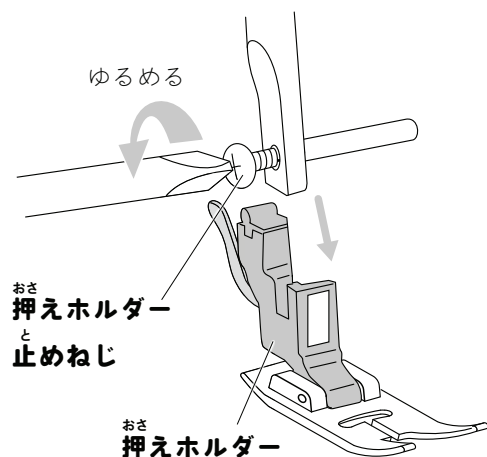
おさ 押えホルダーの取りはずし・取り付け



ちゅう い
注意



はりさき ちゅう い
■ 針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。

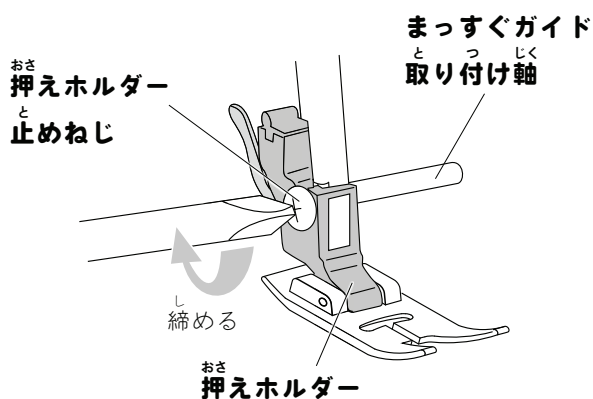


● おさ 押えホルダーの取りはずし

- 【1】『押え上げレバー（白・プラスチック）』を上げます。
- 【2】『手回しハンドル』を手前に回し、針を上げます。
- 【3】『安全針ガード』を開きます。
- 【4】はずす：市販のプラスドライバーを使って『押えホルダー止めねじ』を1回転ほどゆるめ、『押えホルダー』を取りはずします。

*『押えホルダー止めねじ』は、ゆるめすぎるとはずれてしまうことがありますので、ご注意ください。

『まっすぐガイド取り付け軸』もはずれます。



● おさ 押えホルダーの取り付け

- 【1】『押え上げレバー（白・プラスチック）』を上げます。
- 【2】『手回しハンドル』を手前に回し、針を上げます。
- 【3】『安全針ガード』を開きます。
- 【4】付ける：『押えホルダー止めねじ』に『押えホルダー』をはめ込み、『押え』を下ろした状態で『押えホルダー止めねじ』をしっかり締めます。

*『押えホルダー止めねじ』をゆるめた際に、『まっすぐガイド取り付け軸』も一緒にゆるんでしまうことがあります。

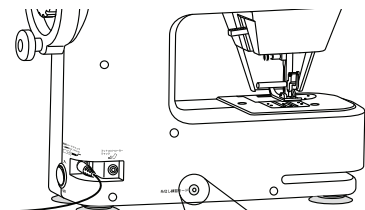
そのため、『押えホルダー』を取り付けた後は、市販のマイナスドライバーを使用して、『まっすぐガイド取り付け軸』をしっかり締めてください。

* プラスドライバーとマイナスドライバーは付属していません。

いと れんしゅう 糸なし練習モード

安全のため、糸がかかっていない状態ではミシンは動作しません。糸なし練習モードに切りか換えることで、ミシンの動作を確認したり、糸を使わずに練習したりすることができます。

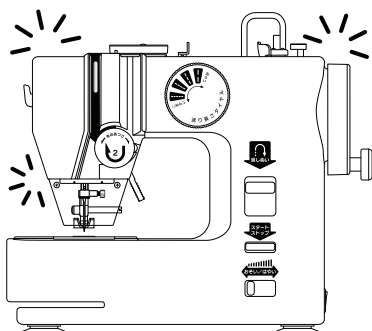
<ミシン背面>



いと れんしゅう
糸なし練習モード
切り換えスイッチ

ミシン背面にある『糸なし練習モード切り換えスイッチ』を押します。

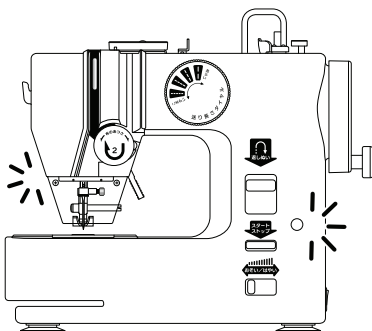
● とうめいパステルの場合



● とうめいパステルの場合

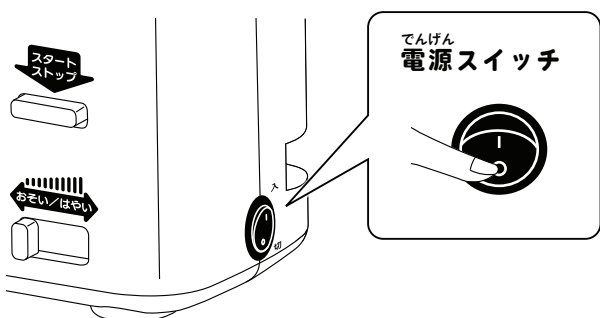
とうめいパステルはミシン全体が光ります。

● ラブリーパステルの場合



● ラブリーパステルの場合

ラブリーパステルは『お知らせランプ』が光ります。



糸なし練習モードを解除するには『電源スイッチ』を「切る側」に押してから、再度電源を入れ直してください。

*『糸なし練習モード切り換えスイッチ』を再度押しても、糸なし練習モードは解除されません。

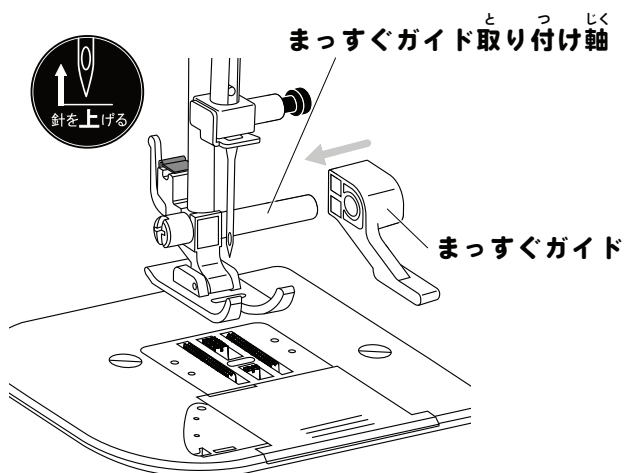
まっすぐガイド



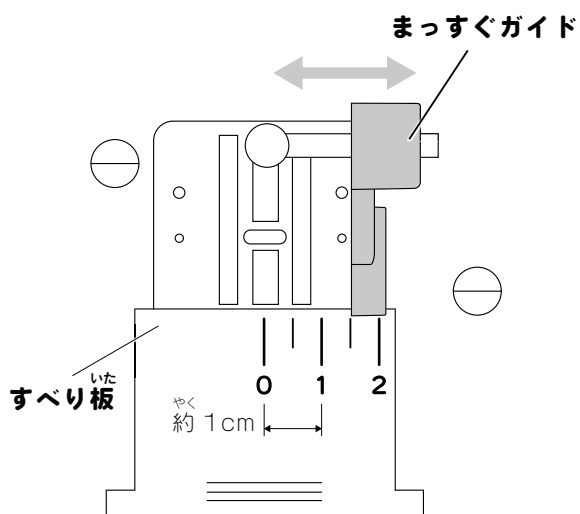
ちゅう い
注意



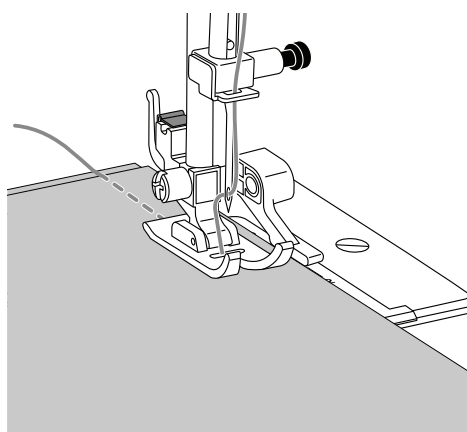
はりさき ちゅう い
■ 針先に注意する。
おそ
ケガをする恐れがあります。



- 【1】『手回しハンドル』を^{てまわ}手前に回し、針を^あ上げます。
- 【2】『安全針ガード』を^{ひら}開きます。
- 【3】『まっすぐガイド取り付け軸』に『まっすぐガイド』をさし込んでください。



- 【4】『まっすぐガイド』の位置を、縫いたい^い布の^ぬ幅に^は合わせ^あ調節^{ちょうせつ}します。

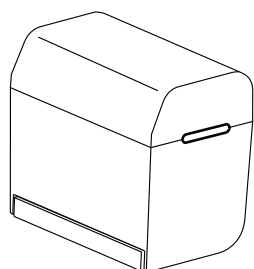


- 【5】布を『まっすぐガイド』にそわせることで、まっすぐ縫うことができます。

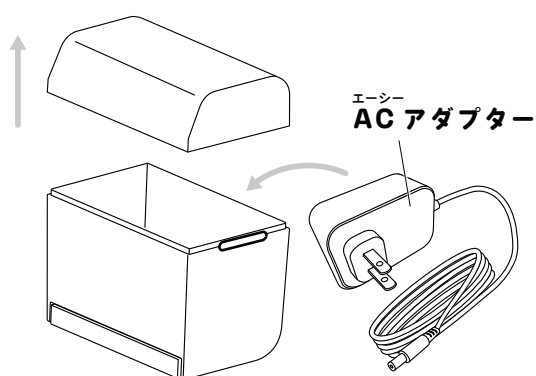
アクセサリボックス

● 付属品の収納

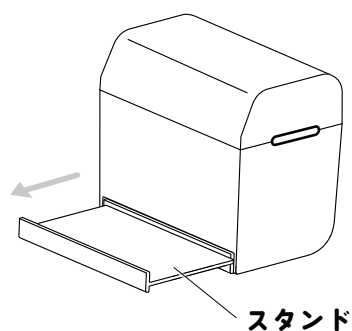
アクセサリボックス



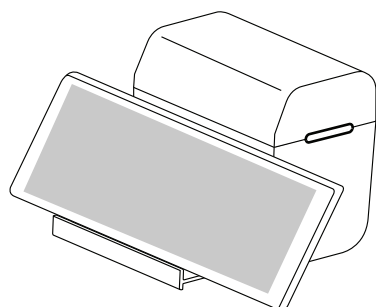
『アクセサリボックス』のふたを開いて
『ACアダプター』などの付属品を収納することができます。



● タブレットスタンド

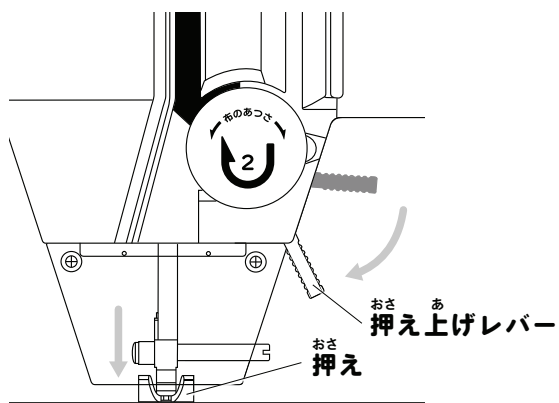


【1】『アクセサリボックス』の『スタンド』を引き出します。



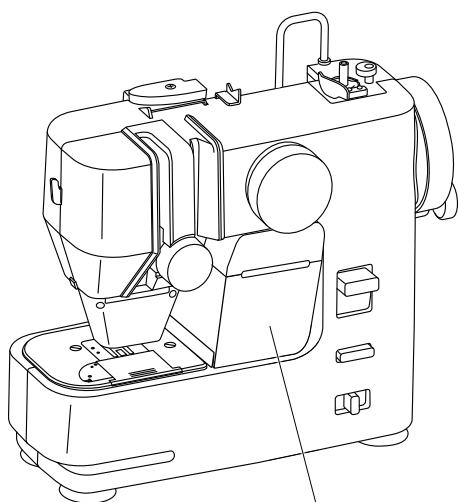
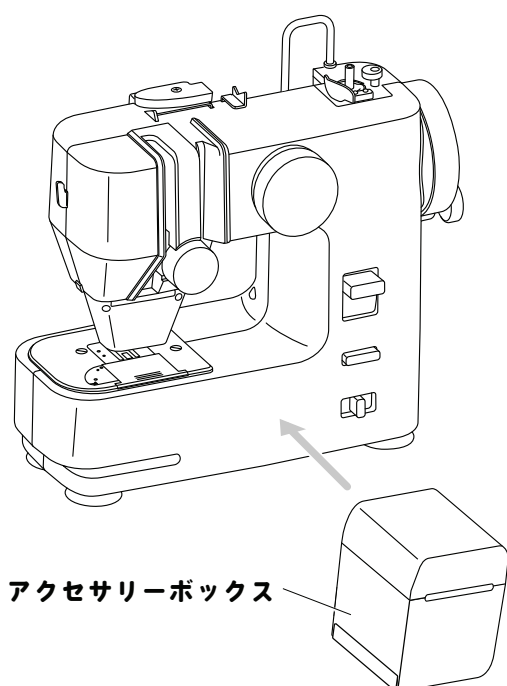
【2】タブレットやスマートフォンを『スタンド』にのせることで、タブレットスタンドとして使えます。

● アクセサリボックスをミシン本体に収納



【1】『おさあ 押え上げレバー (白・プラスチック)』
で『おさあ 押え』を下げます。

【2】『アクセサリボックス』の向きに
注意してミシン本体に収納します。



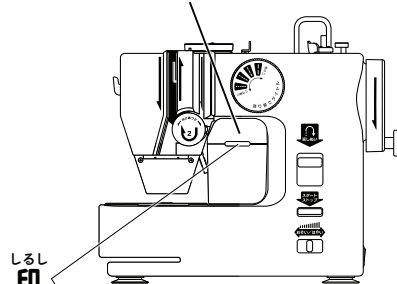
アクセサリボックス



注意

■ 『アクセサリボックス』の向きに
注意してミシン本体に収納して
ください。

アクセサリボックス



* 『アクセサリボックス』のふたの
向きを確認して正しく取り付けてく
ださい。

● 下糸の引き上げかた

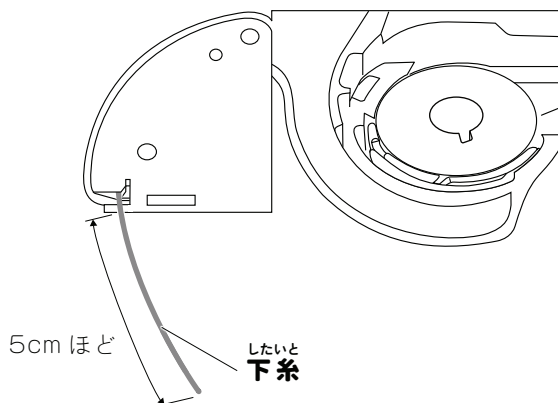
糸が絡んだり、糸調子が乱れたりする場合は、下糸を引き上げる操作を試してください。



ちゅう い
注意

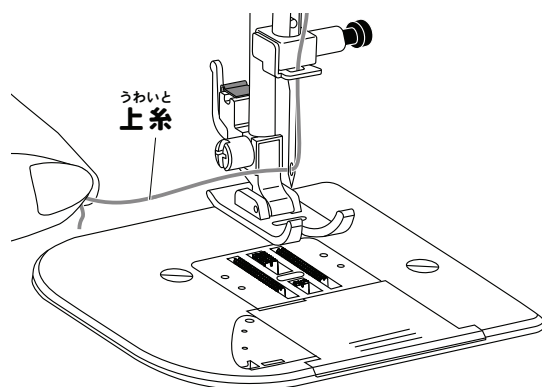


- 針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



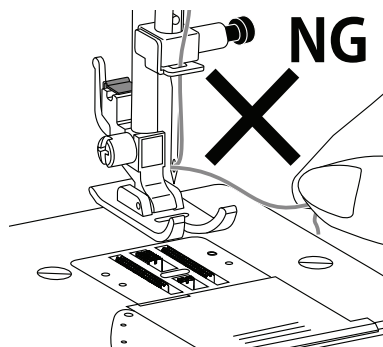
- 【1】『安全針ガード』を開きます。
- 【2】『押え上げレバー（白・プラスチック）』を上げます。
- 【3】下糸をセットする際、下糸を切らずに5cm ほど引き出しておきます。
（下糸のセットはP22の下糸のセットを参照してください）

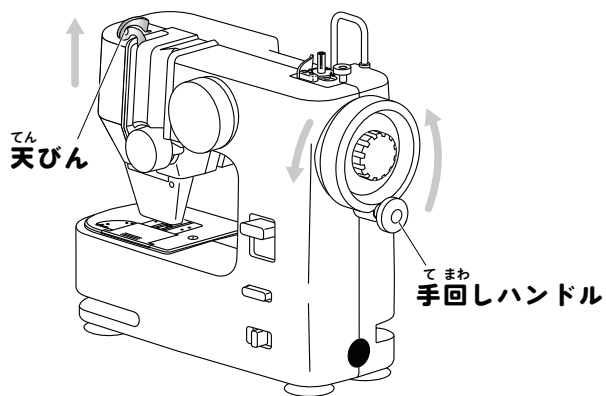
- 【4】上糸の端を持ちます。



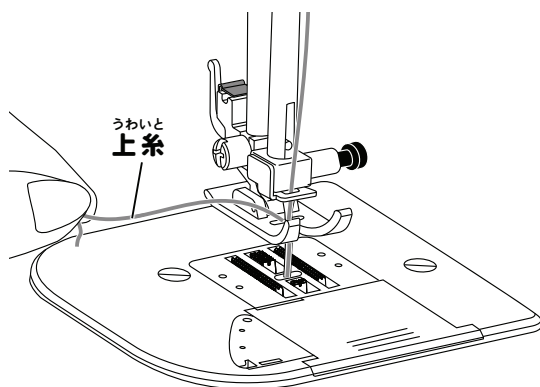
ちゅう い
注意

- 上糸は針の前方付近で持たないでください。
- 上糸を軽く持つだけにしてください。





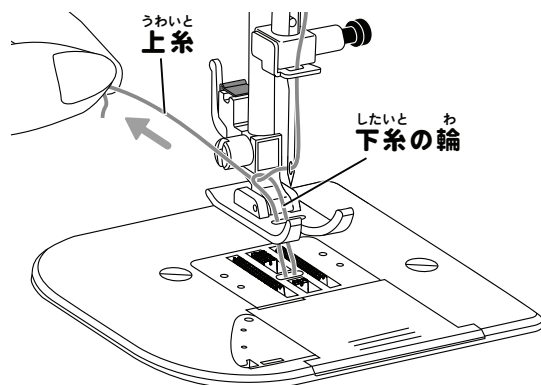
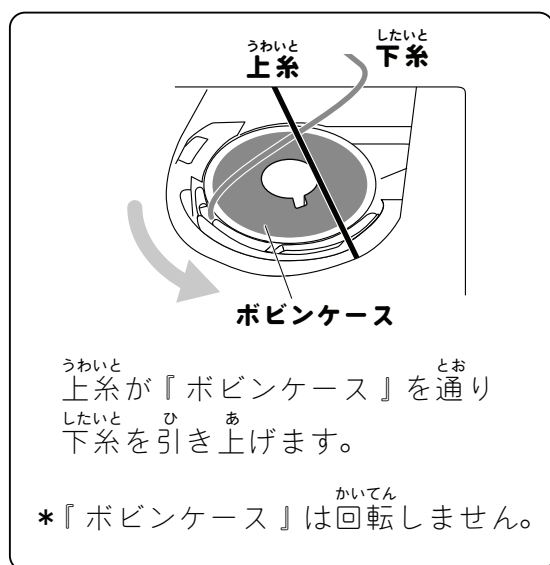
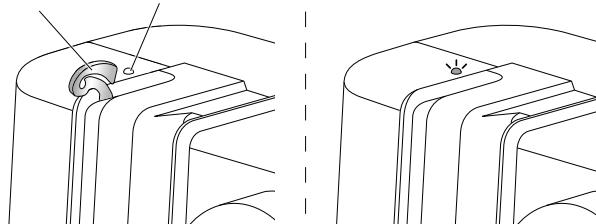
- 【5】 上糸を軽く待ったまま『手回しハンドル』を手前に1回転し、針を上下させて、『針』と『テンビン』を上げます。



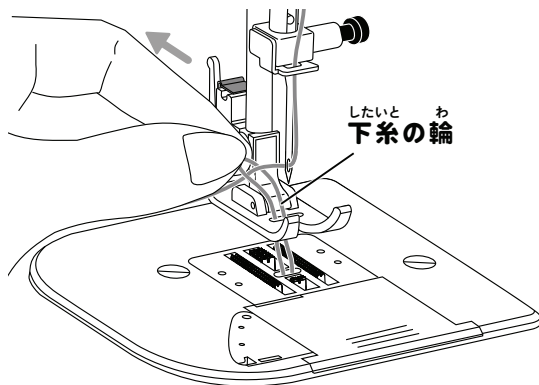
ポイント！

- 「テンビン」が下がっていると糸が引き出されません。
『糸かけランプ』が消えるまで『手回しハンドル』を手前に回してください。

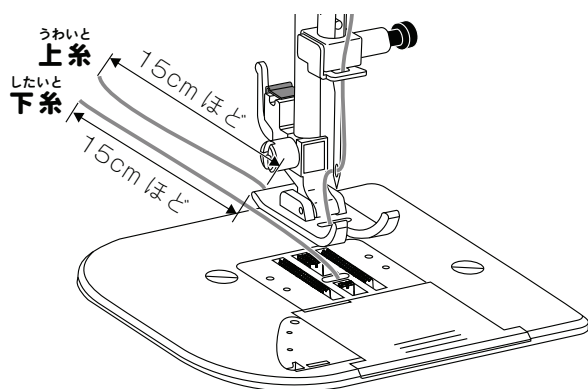
テンビン 糸かけランプ



- 【6】 上糸を左上側に引き、『下糸の輪』を引き出します。

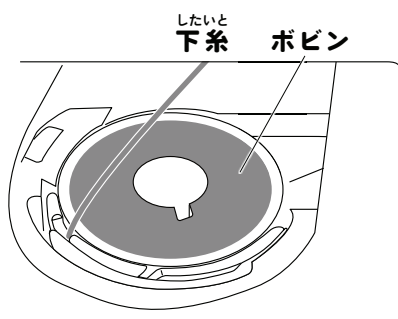


【7】『下糸の輪』をつまみ、下糸を引き出します。



【8】上糸と下糸をそろえて『押え』の下に通し、15cm ほど後ろに引き出します。

＜ボビんケースの拡大図＞

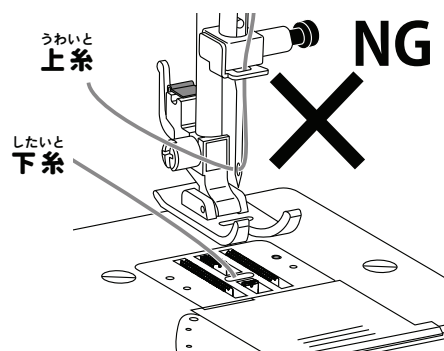


『ボビン』の左上に下糸が通っている状態が正しい位置です。



注意

- 糸の長さが 15cm 未満の場合、縫い始めに上糸が針から抜けて内部に引っかかりミシンが動かなくなります。
必ず上糸・下糸ともに 15cm 以上引き出してください。
- 『押え』の上に糸があると縫い始めに糸が絡むことがあります。
必ず糸は『押え』の下を通してください。



- 『ボビンケース』に下糸がかかっていると糸調子が合わなくなります。もう一度『ボビン』を取り出しセットしてください（P 22 の下糸のセットを参照してください）

はり こうかん 針の交換

はり こうかん あんぜん ほ ごしゃ かた おこな
*『針』の交換は、安全のため保護者の方が行うようにしてください。



ちゅう い
注意



- でんげん き がわ でんげん き エーシー
■ 電源スイッチを「切る側」にして電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

けがをする恐れがあります。

- はり たら めん うし む つ
■ 針の平らな面を後ろ向きに付ける。

はり お おそ ぬ め ぬ
針が折れ、けがをする恐れがあります。また、縫い目ができず縫えません。

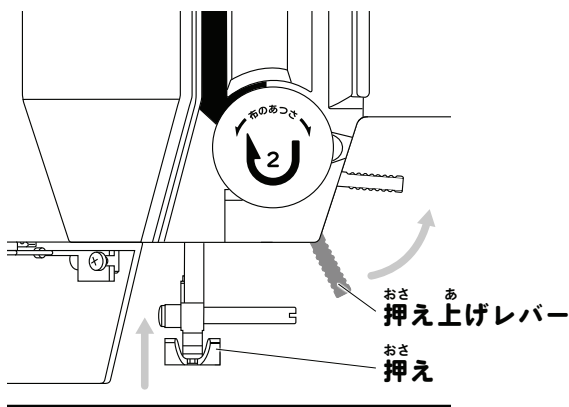
- はりど せんよう はりいた つか し
■ 針止めねじは専用の針板ドライバーを使って、しっかりと締めてください。

て し どうさちゅう はり おそ
手でねじを締めるとミシンの動作中に針がはずれて、けがをする恐れがあります。



- はりさき ちゅう い
■ 針先に注意する。

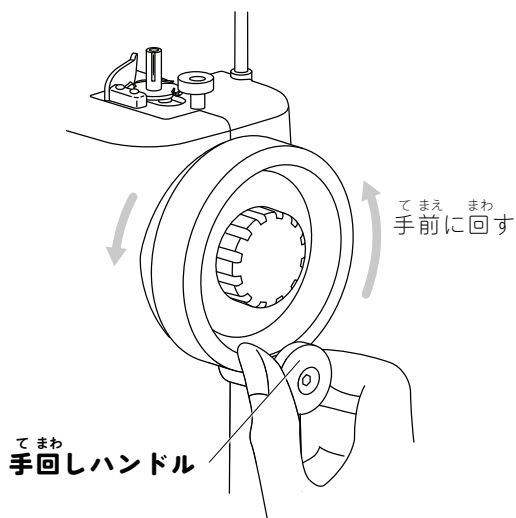
おそ
けがをする恐れがあります。



【1】『安全針ガード』を開きます。

【2】『押え上げレバー(白・プラスチック)』を上げます。

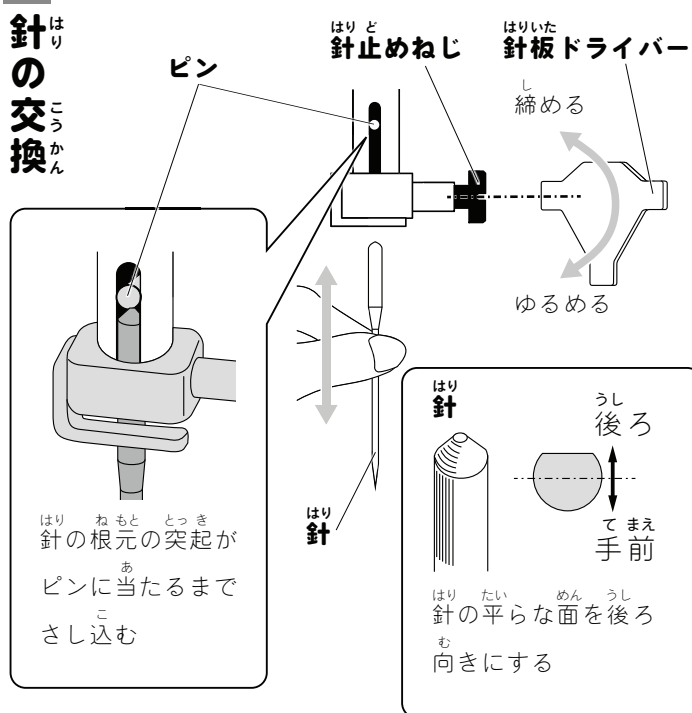
みぎそくめん
<ミシン右側面>



【3】『手回しハンドル』を手前に回し、針を上げます。

* 針が針穴に落下しないように『押え』の下に紙などを置きます。

針の交換



【4】 付属の『針板ドライバー』を使用して針を交換します。

● 針の取りはずし

取り付けられている針を手で持ち、『針止めねじ』を2回転程回してゆるめ、針を下に引き抜きます。

● 針の取り付け

新しい針の平らな面を後ろ向きにして持ち、奥までさし込み、『針止めねじ』をしっかりと締めて固定します。

* 針が根元のピンにしっかり当たる位置までさし込まれているか、目で確認してください。

正しい針の選びかた



注意



針先に注意する。

ケガをする恐れがあります。

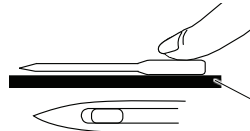
曲がった針は使用しない。

ケガや故障の原因になる恐れがあります。

家庭用のニット用ミシン針 (HA × 1SP) を使用してください。

○ 正しい針

指で針を押さえる



ガラスのような平らな面

* ガラスのような平らな面に針を置き、針の曲がり具合を確認してください。

縫い目が飛ぶ、糸が絡む場合は、針の不具合が考えられます。

一度針を交換してください。

不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、『針板』や『かま』に傷を付けます。

かまのそうじ

『かま』には糸くずやホコリがたまりやすく、縫いに影響が出る場合があります。
定期的（ていきてき）にそうじを行ってください。

*『かま』のそうじは、安全のため保護者の方が行うようにしてください。



注意

- 電源スイッチを「切る側」にして電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 説明書に記載している以外の修理、改造、分解は禁止。
- かまなどには尖った部分がありますので、そうじをする際は注意してください。



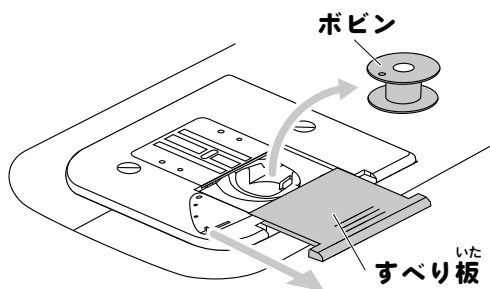


ケガをする恐れがあります。

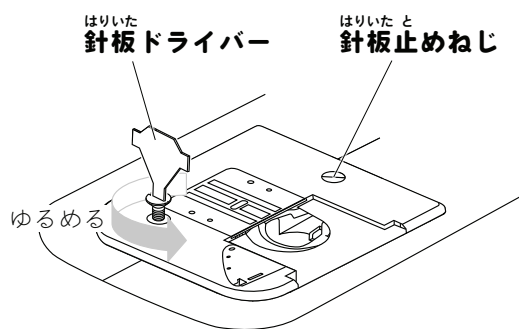
ケガをする恐れ、または故障の原因になります。

ケガをする恐れがあります。

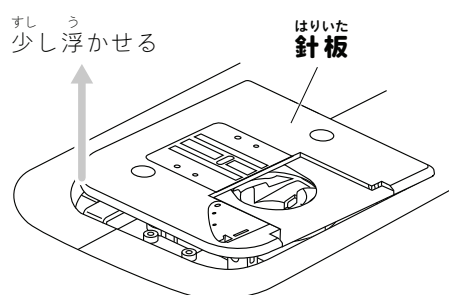
● 針板、ボビンケースの取りはずし



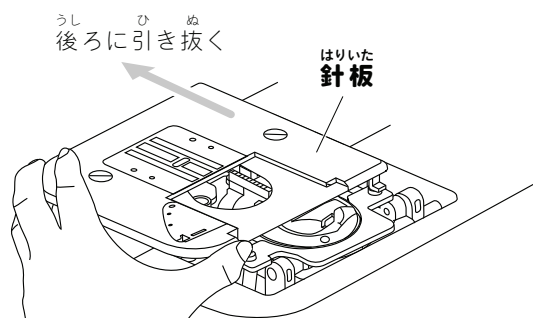
- 【1】『押え』と『針』をはずします。
（P54の押えの取りはずし、P64の針の交換を参照してください）
- 【2】『すべり板』と『ボビン』をはずします。



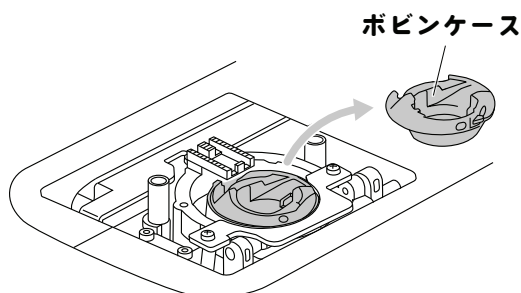
- 【3】付属の『針板ドライバー』で『針板止めねじ』を2か所はずします。



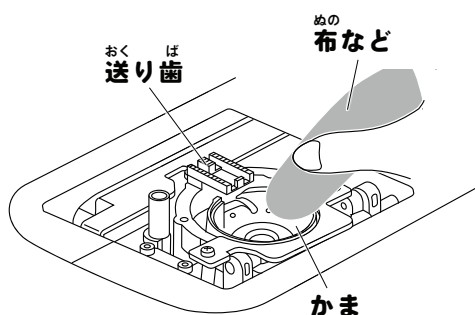
- 【4】『針板』の後ろ側を少し浮かせます。



- 【5】『針板』の後ろ側を浮かせたまま後ろに引き抜きます。

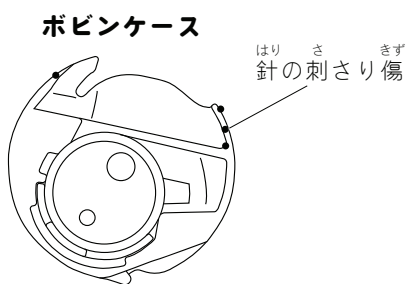


- 【6】『ボビンケース』をはずします。



- 【7】布などで『かま』や『送り歯』の糸くずやホコリを取り除きます。

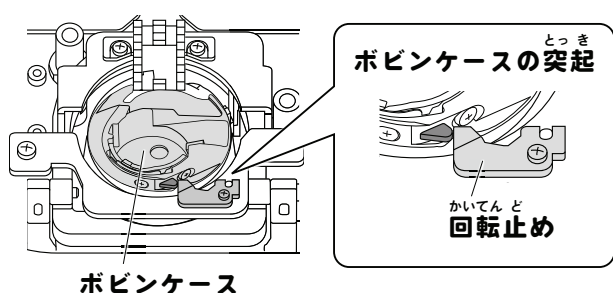
*『かま』の先端は尖っているのでケガに注意してください。



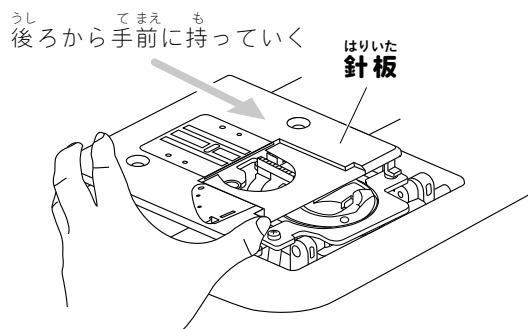
- 【8】『ボビンケース』に傷がないか確認し糸くずやホコリを取り除きます。

*『ボビンケース』に針が刺さった傷があると、糸が引っかかり、糸が絡んだりする可能性があります。その場合『ボビンケース』の交換が必要です。P74 のサービスセンターにお問い合わせください。

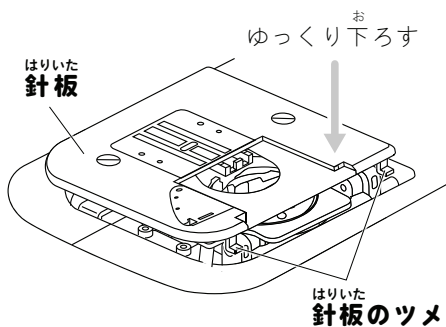
● ボビンケース、針板の取り付け



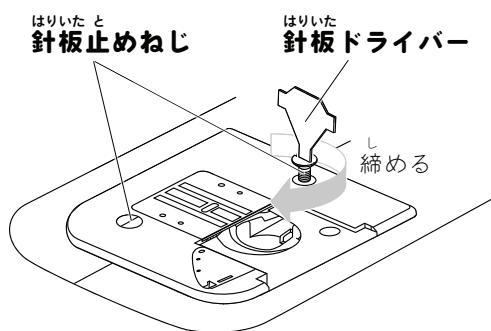
- 【1】『ボビンケースの突起』が『回転止め』に接触するように合わせます。



- 【2】『針板』を後ろから手前に持っていきます。



- 【3】『針板』をゆっくり下ろし、『針板』の裏のツメをミシン本体のカバーに引っかけるように取り付けます。



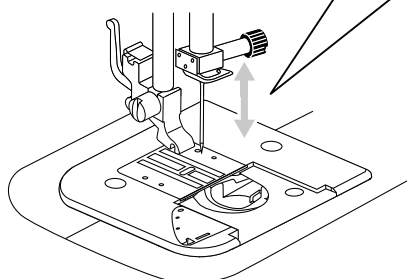
- 【4】付属の『針板ドライバー』で『針板止めねじ』を2か所締め、『針板』を固定します。

*『針板止めねじ』がしっかり締まっていないと針が干渉したり、『ボビンケース』が動いてしまうなどのトラブルにつながります。



- 【5】針を取り付け、『手回しハンドル』を手前に回し、針を上下させてスムーズに動くか確認します。(P64の針の交換を参照してください)

*『手回しハンドル』を手前に回してスムーズに動かない場合は、『針』『針板止めねじ』『針板』を取りはずし、『ボビンケース』の位置を合わせ直してください。



- 【6】『ボビン』『すべり板』『押え』『針』を取り付けます。(P54の押えの取り付け、P64の針の交換を参照してください)

あんぜんはり こうかん 安全針ガードの交換

『針』の交換などの際に、誤って『安全針ガード』に傷を付けてしまった場合、傷があると縫っている最中の妨げになります。

以下の手順に従って『安全針ガード』を交換することができます。

*『安全針ガード』の交換は、安全のため保護者の方が行うようにしてください。



ちゅうい
注意

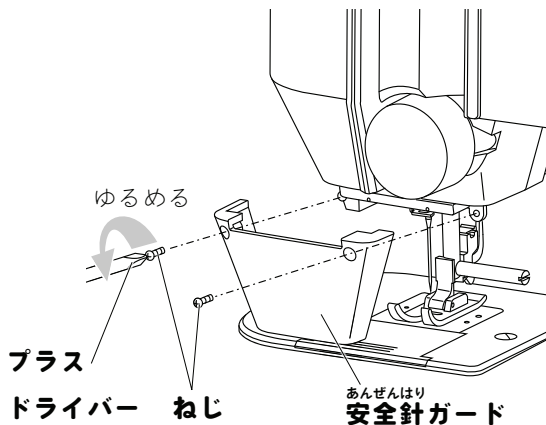
■ 電源スイッチを「切る側」にして電源を切り、
ACアダプターをコンセントから抜いてください。
ケガをする恐れがあります。

■ 針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



* 縫う操作を行う際は、必ず「安全針ガード」を取り付けた状態で作業してください。

* プラスドライバーは付属しておりません。



● あんぜんはり と 安全針ガードの取りはずし

- 【1】 市販のプラスドライバーを使用して、『安全針ガード』を固定している2か所のねじをはずします。
- 【2】 『安全針ガード』を手前に引いて取りはずします。

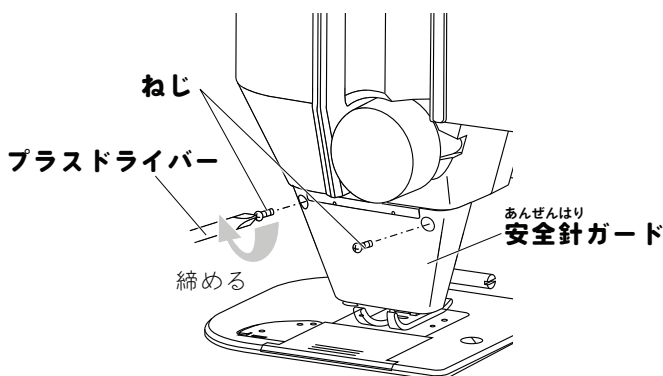
● あんぜんはり と 安全針ガードの取り付け

- 【1】 『安全針ガード』を本体に取り付けます。
- 【2】 市販のプラスドライバーを使って、『安全針ガード』を固定している2か所のねじを締めます。

* プラスドライバーは、直径約3mmで先端が尖っていないタイプをご使用ください。

* 『安全針ガード』を固定するねじを強く締めすぎると、ねじ穴が潰れて固定できなくなる恐れがあります。

* 交換用の『安全針ガード』は付属しておりません。交換が必要な場合は、P74のサービスセンターにお問い合わせください。





ふぐあい 不具合	げんいん 原因	かいけつほうほう 解決方法	ページ
ミシンが動かない	エーシー ACアダプターのさし込み不十分	エーシー ACアダプターをしっかりとさし込む	13
	でんげん 電源スイッチが「切る側」になっている	でんげん 電源スイッチを「入れる側」にする	13
	あんぜんはり 安全針ガードが開いている (ランプが光っている)	あんぜんはり 安全針ガードをしっかりと閉める	32
	おさ あ 押え上げレバーが上がっている	おさ あ 押え上げレバーを下ろす	53
	てん 天びんから糸が抜けている	てん 天びんに糸をかける	29
	こと エーシー 異なる AC アダプターを使用している	じゅんせい エーシー 純正の AC アダプターを使用する	13、73
ぬい はじ 縫い始めてすぐに と 止まる (ランプは光る)	てん 天びんから糸が抜けている	てん 天びんに糸をかける	29
	ま はり しよう 曲がった針を使用している	あた はり こうかん 新しい針に交換する	64
	ぬの あつ 布が厚すぎる	ぬの しゆるい か 布の種類を変える	-
	ぬの かた ひか 布が固すぎる	ぬの しゆるい か 布の種類を変える	-
	ぬい はじ だん さ おさ かたむ すす 縫い始めの段差で押えが傾いて進まない	おさ すいへい 押えを水平にする	50
	おさ うえ いと 押えの上に糸がある	おさ した いと とお 押えの下に糸を通す	30、63
いと から 糸が絡まって と 止まる	うわいとちようし よわ 上糸調子が弱すぎる	うわいとちようし つよ 上糸調子を強くする	44
	うわいとちようせつ 上糸調節ダイヤルに糸が入っていない	おさ あ 押えを上げて、上糸調節ダイヤルに糸を かける	25～28
	ぬい はじ いと から 縫い始めの糸がかまに絡む	うわいと も はり さ 上糸を持ったまま、針を下げる	34
	ぬい しろ すく 縫い代が少なくて布が進まない	ぬい しろ い じよう 縫い代は 5mm 以上にする	-
	ぬい やわ 布が柔らかくて、薄くて布が進まない	ハトロン紙を布の下に置く	-
	うわいと 上糸のかけかたが間違っている	うわいと 上糸をはずし、最初からかけ直す	25
	かまに きず かまに傷がある	きず と のぞ 傷を取り除く	66
	て ぬい いと しよう 手縫い糸を使用している	ミシン糸を使用する	47～48
したいと 下糸がきれいに ま 巻けない	いと あんない いと 糸案内に糸がかかっている	いと あんない いと 糸案内に糸をかける	15～17
	いと 糸かけから糸がはずれている	いと 糸かけに糸をかける	15～17
	ポビンの しゆるい こと ポビンの種類が異なる	せい き 正規のポビンを使用する	10、73

ふくあい 不具合	げんいん 原因	かいけつほうほう 解決方法	ページ
ぬの うら 布の裏で タオル状になる ぬ め わ 縫い目に輪が できる	うわいとちようせつ いと はい 上糸調節ダイヤルに糸が入っていない	おさ あ うわいとちようせつ いと 押えを上げて、上糸調節ダイヤルに糸をかける	25 ~ 28
	おさ さ 押えを下げていない	おさ さ 押えを下げる	53
	うわいとちようし よわ 上糸調子が弱すぎる	うわいとちようし つよ 上糸調子を強くする	44
	しゅるい こと ボビンの種類が異なる	せい き 正規のボビンを使用する	10、73
	きず かまに傷がある	きず と のぞ 傷を取り除く	66
うわいと き 上糸が切れる	うわいと ま ちが 上糸のかけかたが間違っている	うわいと さいしょ なお 上糸をはずし、最初からかけ直す	25
	うわいと 上糸がはずれている	うわいと さいしょ なお 上糸をはずし、最初からかけ直す	25
	うわいとちようし つよ 上糸調子が強すぎる	うわいとちようし よわ 上糸調子を弱くする	44
	はり ま はりさき か 針が曲がっている、針先が欠けている	あたは はり こうかん 新しい針に交換する	64
	はり いと めの あ 針や糸が布に合っていない	ぬの あ はり いと しよう 布に合った針と糸を使用する	47
	はり と つ ま ちが 針の取り付けかたが間違っている	はり はりぼう おく こ こてい 針を針棒の奥までさし込み固定する	65
	しゅるい こと ボビンの種類が異なる	せい き しよう 正規のボビンを使用する	10、73
	いと ふる き 糸が古くなっていて切れやすい	あたは いと こうかん 新しい糸に交換する	-
	て め いと しよう 手縫い糸を使用している	ミシン いと しよう ミシン糸を使用する	-
したいと き 下糸が切れる	したいと ま ちが 下糸のかけかたが間違っている	したいと さいしょ なお 下糸をはずし、最初からかけ直す	22
	したいと ひ まわ 下糸を引いてもボビンが回らない	せい き しよう 正規のボビンを使用する	10、73
	ま いじよう ボビンの巻きかたに異常がある	いと せいじよう じようたい ま なお ボビンの糸を正常な状態に巻き直す	21
	ま はじ いと き ボビンの巻き始めの糸を切っていない	そとがわ いと ね もと き ボビンの外側の糸を根元から切る	21
	いと ふる き 糸が古くなっていて切れやすい	あたは いと こうかん 新しい糸に交換する	47 ~ 48
はり お 針が折れる	ぬの ひ ば 布を引っ張っている	て かる 手は軽くそえるだけにする	36
	ぬの たい はり ほそ 布に対して針が細い	ぬの あ はり しよう 布に合った針を使用する	47
	はり む ま ちが 針の向きが間違っている	はり たい めん うし がわ 針の平らな面を後ろ側にする	65
	はり おく こ 針を奥までさし込んでいない	はり はりぼう おく こ こてい 針を針棒の奥までさし込み固定する	65
	うわいとちようし つよ 上糸調子が強すぎる	うわいとちようし よわ 上糸調子を弱くする	44
	ぬの あつ 布が厚すぎる	ぬの しゅるい か 布の種類を変える	-

ふくあい 不 具 合	げんいん 原 因	かいけつほうほう 解 決 方 法	ページ
ぬめ 縫い目がとぶ	はりさき つぶ か 針先が潰れている、または欠けている	あたは はり こうかん 新しい針に交換する	64
	はり む まちが 針の向きが間違っている	はり たい めん うし がわ 針の平らな面を後ろ側にする	65
	はり おく こ 針を奥までさし込んでいない	はり はりぼう おく こ こてい 針を針棒の奥までさし込み固定する	65
	はり いと めの あ 針や糸が布に合っていない	ぬの あ はり いと しよう 布に合った針と糸を使用する	47
	はり とお いと うし まえ とお 針に通す糸が後ろから前に通っている	いと はりあな まえ うし とお 糸は針穴に前から後ろに通す	30
ミシンが途中で とまる	いと ながい ない ぶ から 糸がかまなどの内部に絡んでいる	から いと と のぞ いと なお 絡んだ糸を取り除き、糸をかけ直す	41
	しゅるい こと ボビンの種類が異なる	せい き しよう 正規のボビンを使用する	10、73
	ぬ はじ いと ひ こ 縫い始めの糸が引き込まれる	うわいと も はり めの さ 上糸を持ったまま、針を布に刺す	34
	ぬの まいすう おお めの すす 布の枚数が多くて布が進まない	ぬの まいすう おお か しょう て 布の枚数が多い箇所は手でゆっくり回す	49
	だん さ めの すす 段差があって布が進まない	だん さ おさ すいへい 段差は押えを水平にする	50
	かた めの め 固い布を縫っている	て まわ 手で回して、ゆっくり縫う	49
	ぬの ひ ば 布を引っ張っている	て かる 手は軽くそえるだけにする	36
	すべり いた と つ すべり板を取り付けていない	すべり いた と つ すべり板を取り付ける	24
ぬの おく 布を送らない ぬの 布がシワになる	ぬの おさ たか こ たか 布が押えの高さを超えるほど高い	ぬの おさ たか こ 布は押えの1段目の高さを超えないものに 変更する	53
	おさ あ 押え上げレバーが上がっている	おさ あ お 押え上げレバーを下ろす	53
	ぬ はじ だん さ おさ かたむ 縫い始めの段差で押えが傾いている	おさ すいへい 押えを水平にする	50
	ぬの ひ ば 布を引っ張っている	て かる 手は軽くそえるだけにする	36
	うわいとちょうし つよ 上糸調子が強すぎる	うわいとちょうし よわ 上糸調子を弱くする	44
	うわいと したいと ひ 上糸、下糸がどこかで引っかかっている	いと すべ さいしよ なお 糸を全てはずし、最初からかけ直す	22～30
	はり いと めの あ 針や糸が布に合っていない	ぬの あ はり いと しよう 布に合った針と糸を使用する	47
	おく なが こま 送り長さが細くなっている	おく なが あら 送り長さを粗くする	52
かいてん おも 回転が重い おと おお 音が大きい	はりさき つぶ か 針先が潰れている、または欠けている	あたは はり こうかん 新しい針に交換する	64
	あつ めの め 厚い布を縫っている	いじよう 異常ではありません	-

これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の摩耗による交換または電気系統の故障が原因となっている可能性があります。ご購入店または弊社サービスセンター（P74を参照してください）までご相談ください。

MODEL	PM-01C（とうめいパステル）、PM-01L（ラブリーパステル）
サイズ	幅 33 × 奥行き 13 × 高さ 29cm
重量	2.8kg
かまのタイプ	水平全回転かま
最大の送り量	3.8mm
返し縫いの送り量	2.5mm
使用する針	家庭用ミシン針（HA × 1）
使用するボビン	家庭用プラスチックボビン（高さ 11.5mm × 直径 20.5mm）
定格消費電力	14W
回転速度	150 ～ 400rpm
適用電源	入力：AC100-240V 50/60Hz 0.8A
AC アダプター	出力：DC12V 2.0A

しょうり ようりょう
修理サービス要領

● 修理サービス

- 【1】 このミシンをご購入いただいたお客様には、ご購入店より1年間の『無料修理保証書』が発行されます。
内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 【2】 修理サービスは、無料修理保証期間内および期間終了後も、原則としてご購入店が承りますので、お気軽にご相談ください。
- 【3】 修理サービスに関するお問い合わせやご不明な点がございましたら、ご購入店または弊社までお申し付けください。

● 修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品については、ご購入日から通常7年間、弊社よりご購入店へ供給できる体制を整えております。

● 無料修理保証期間後の修理サービス

【１】 取扱説明書に基づいて正しくご使用・お手入れされている場合、無料保証期間を過ぎても、修理用部品の供給可能期間内であれば、ご購入店を通じて有料で修理サービスを承ります。

ただし、次のいずれかに該当する場合は、有料であっても修理できないことがありますので、ご購入店または弊社までご相談ください。

イ．保存状態の不備や落下による破損、または誤使用により不調・故障・損傷が生じた場合。

ロ．浸水・冠水・火災・天災地変（地震・落雷・風水害など）により不調・故障・損傷が生じた場合。

ハ．ご購入後の移動または輸送中に不調・故障・損傷が生じた場合。

ニ．ご購入店、弊社の指定販売店またはサービス店以外で修理・分解・改造を行ったことにより不調・故障・損傷が生じた場合。

【２】 長期間ご使用されたミシンは、経年による精度の劣化により、修理を行っても元の状態に完全には戻らない場合があります。

【３】 有料修理サービスをご利用いただく場合の費用は、別途定める必要部品代金・交通費・技術料金の合計額となります。

とあそうだんさき お問い合わせまたはご相談先

ミシンに関するお問い合わせやご相談は、ご購入店のほか、下記の弊社サービスセンターでも承っております。どうぞご遠慮なくお申し付けください。

株式会社 アックス ヤマザキ サービスセンター



お問い合わせのメール
フォームに移動します。

TEL : 0120-405-851

携帯電話からもご利用になれます。

E-Mail : info@axeyamazaki.co.jp

平日 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝祭日除く)

〒 544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5 株式会社 アックス ヤマザキ

TEL : 06-6717-5851 FAX : 06-6741-7875 平日 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝祭日除く)

- 住所および電話番号は都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。
- 純正部品の購入に関するお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社サービスセンターにもおたずねください。
- ご購入いただいたミシンは、上記の専門工場にて点検・修理等のサービスを承ります。
- サービスには有償修理点検と無償修理点検があり、ミシン送付前には必ず弊社サービスセンターにお問い合わせください。
- ミシンを工場へ送付される際は、必ず元の箱と緩衝材（クッション）を使用して梱包してください。
- 運送中にミシンが揺れることで本体が破損する可能性がありますので、梱包時には十分ご注意ください。

ミシンの保証書

MODEL		PM-01 シリーズ	機 械 番 号	
※お買い上げ		年 月 日	保 証 期 間	ご購入の日から 1 年間
※お客様	ご住所	〒 TEL 様方		
	ご芳名			
※販売店	住 所	〒		
	店 名	TEL		

ご購入後は、
※印欄への記入があるかご確認ください。
記入がない場合は、
ご購入日または
お届け日が確認できる
伝票等を必ず添付してください。
なお、本書は再発行は
いたしかねます。
紛失しないよう、大切に
保管してください。

無料修理保証について

- 無料修理保証期間内（ご購入の日から 1 年間）に故障が発生した場合は、該当箇所の修理・調整、または故障部品の交換を無料で行います。
- 無料修理保証の対象はミシン本体に限ります。針などの消耗部品は対象外となります。
- 無料修理保証を受ける際は、必ず本保証書をご提示ください。
- 保証対象機種がコンパクトミシンまたは軽量で持ち運び可能なポータブルミシンである場合は、購入店へミシンをご持参いただくか、事前にご相談ください。

無料修理保証を受けられない場合

次のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても無料修理保証の対象とはなりません。

- 取扱説明書に記載された使用方法または保存方法に反する取り扱いにより、不調・故障・損傷が発生した場合。
- 落下、浸水、冠水、火災、天災地変などによる不調・故障・損傷が発生した場合。
- ご購入店または弊社が指定する販売店・サービス店以外で修理・分解・改造を行ったことにより、不調・故障・損傷が発生した場合。
- 職業用など、過度な使用により不調・故障・損傷が発生した場合。
- 特別なご依頼による点検・精密検査・分解・清掃などを行った場合。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書に購入年月日や購入店名の記載または捺印がない場合。
- 保証書の字句が訂正または書き換えられている場合。

* この保証書は日本国内でのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

有償修理について

- 上記に該当する場合やその他有料で修理を行う場合の費用は、別途定める必要部品代および技術料の合計額とさせていただきます。

お問い合わせまたはご相談先

- 修理やお問い合わせの際は、この保証書に記載されているご購入店、または取扱説明書に記載の弊社「サービスセンター」までお申し付けください。

お客様へのお願い

- 本保証書は、記載された期間および条件のもとで無料修理をお約束するものです。
なお、本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理につきましてもご不明な点がございましたら、ご購入店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
- 修理をご依頼の際は、取扱説明書の「修理サービス要領」をよくお読みください。
また、本保証書は再発行いたしかねますので、紛失されないよう大切に保管してください。

AXE YAMAZAKI

【保証責任者】株式会社 アックス ヤマザキ

〒 544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5

TEL : 06-6717-5851